

令和9年度

入学者選拔要項



宇都宮大学

UTSUNOMIYA UNIVERSITY

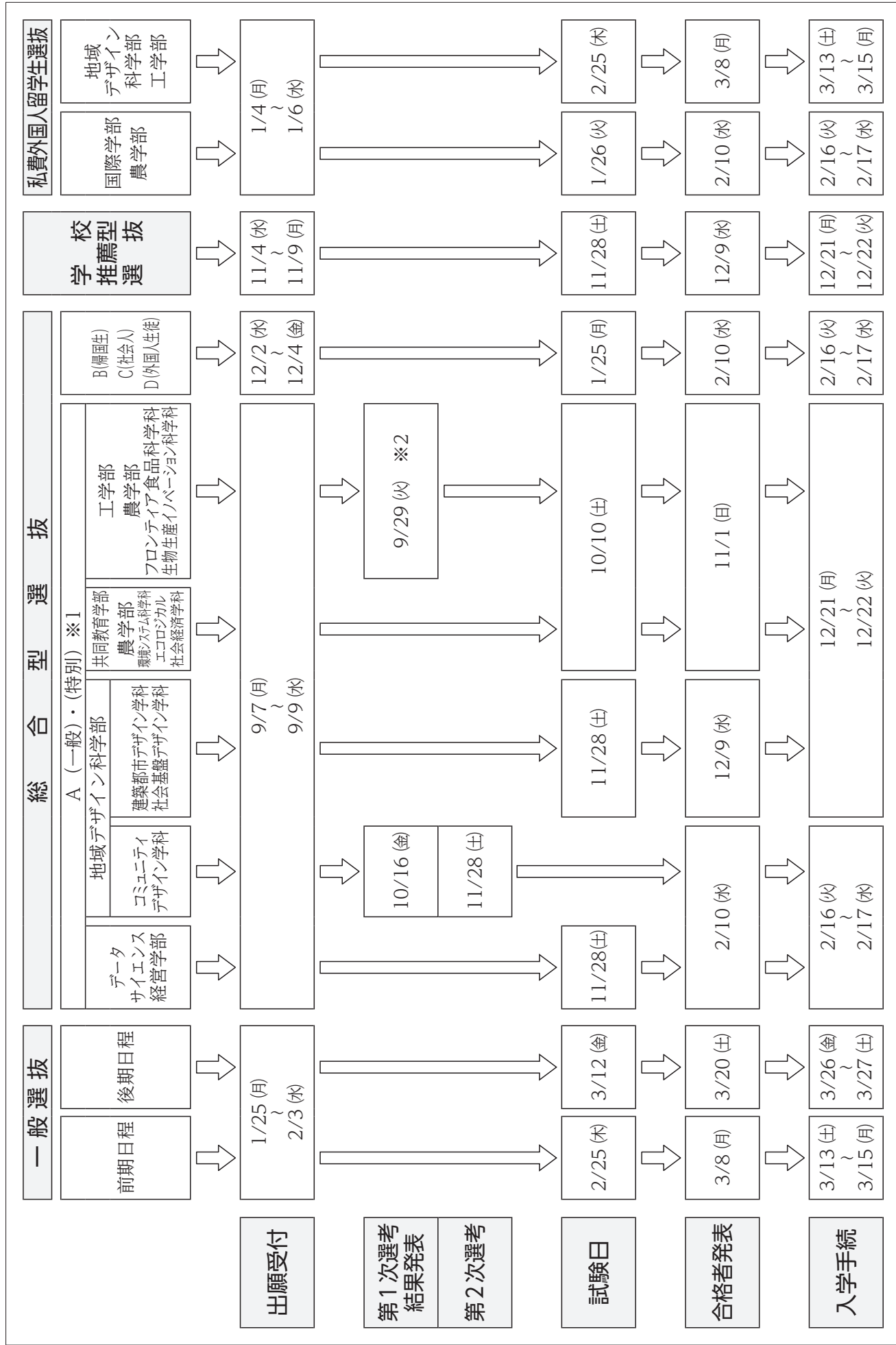
宇都宮大学では、地震、風水害等の災害により被害を受けた受験者の皆さんに対し、入学検定料を免除する制度があります。詳細は、各学生募集要項にてお知らせします。

また、入学時にも、入学料や授業料の免除・徴収猶予、学生寮の優先的入居などについて、できるだけ配慮を致します。

困難な状況が続いていると思いますが、是非とも夢を失わず、真っ直ぐに前を見ながら歩んでください。応援しています。

なお、最終ページに栃木県の高校生を対象とした奨学金のご案内を掲載しておりますので、そちらもご覧ください。

この入学者選抜要項は、宇都宮大学が実施する令和9年度入学者選抜の概要を紹介したものです。出願にあたっては、別途公表する各学生募集要項を必ずご覧ください。



募集人員に欠員が生じた場合は、3月28日以降合格者を追加します。

※1 総合型選抜A（特別）は、工学部、農学部で実施します。

※2 2段階選抜を実施する場合（総合型選抜A（一般）のみ）のみ

《目 次》

I	宇都宮大学の理念と方針、教育目標	1
II	宇都宮大学のアドミッション・ポリシー	1
III	入学者選抜	
1	入学者選抜の種類	24
2	募集人員（総表）	24
3	入学者選抜方法等	
(1)	データサイエンス経営学部	25
(2)	地域デザイン科学部	25
(3)	国際学部	25
(4)	共同教育学部	26
(5)	工学部	26
(6)	農学部	26
IV	一般選抜	
1	出願資格	27
2	出願期間（前期日程、後期日程）	27
3	出願上の留意事項	27
4	主体性評価について	28
5	教科・科目名の表記	28
6	大学入学共通テスト「地歴」及び「公民」における科目選択の制限について	28
7	大学入学共通テスト「理科」における科目選択の制限について	29
8	入学者選抜の実施教科・科目等	
	データサイエンス経営学部	30
	地域デザイン科学部	31
	国際学部	32
	共同教育学部	33
	工学部	34
	農学部	35
	共同教育学部実技検査の内容	36
V	総合型選抜	
1	総合型選抜A（一般）・（特別）	37
2	総合型選抜B（帰国生）	49
3	総合型選抜C（社会人）	50
4	総合型選抜D（外国人生徒）	51
VI	学校推薦型選抜	52
VII	私費外国人留学生選抜	56
VIII	学生募集要項の公表時期と請求方法	58
IX	疾病・負傷や障がい等による受験上及び修学上の配慮に関する事前相談	59
X	入試過去問題の使用について	59
XI	宇都宮大学の情報提供	59
	（栃木県の高校生の皆さんへ）	
	入学応援奨学金（予約型奨学金）のご案内	60

I 宇都宮大学の理念と方針、教育目標

★理念と方針

宇都宮大学は、人類の福祉の向上と世界の平和に貢献することを理念とし、広く社会に開かれた大学として、質の高い特色ある教育と研究を実践するため、次の基本的な方針を定めています。

- 1 幅広く深い教養と実践的な専門性を身につけ、未来を切り開く人材を育成します。
- 2 持続可能な社会の形成を促す研究を中心に、高水準で特色のある研究を推進します。
- 3 地域社会のみならず広く国際社会に学び貢献する活動を積極的に展開します。

この理念と方針を基に、次の「教育目標」を掲げています。

★教育目標

- 1 基盤教育を出発点として、現代社会に必要な汎用的能力（宇大スタンダード）を育成します。
- 2 専門教育を通じて、実践的で専門的な知識と技能を涵養します。
- 3 それらのふたつを有機的に結びつけた4年一貫教育により、幅広い教養と行動的知性を備え、未来の社会を拓き支える人材を育成します。

宇大スタンダード

- 【論理的思考力】 筋道を立てて論理的に物事を考える力
- 【情報活用力】 情報及び情報手段を主体的に選択し、活用する力
- 【表現力】 感情や思考などを伝達可能な形式に表し、効果的・印象的なものとして伝える力
- 【学修力】 一人称で物事を捉え自ら行動し、進んで新しい知識・能力を身に付けようとする力
変化に対応し、自らを変えようとする力
- 【協働力】 チームの中で協力しながら自分の役割や責任を果たす力
多様な人々との繋がりや協働を生み出す力
- 【課題解決力】 多面的な視点から現状を分析し、目的や課題を明らかにする力
課題解決に向けた計画を立案し、自律的に取組む力

II 宇都宮大学のアドミッション・ポリシー

宇都宮大学アドミッション・ポリシー

求める学生像と受入れの基本方針

- 1 未来を切り開いていこうとする夢と情熱を持っている人
- 2 知的好奇心に富み、専門職業人として持続可能な社会の形成や発展に貢献したい人
- 3 教養と専門知識を修得するために必要な基礎的な学力とコミュニケーション力を持っている人

データサイエンス経営学部 データサイエンス経営学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

データサイエンス経営学部は、データサイエンスと経営学を総合的に学び、データから価値のある情報を抽出するデータサイエンス力、経営学的視点から課題とその解決策を見つけ出すマネジメント力、データサイエンスと経営学の知識とスキルを、課題解決や意思決定、価値創出に活用できる社会実装力の3つの力を有する次世代人材を育成します。また、「宇大スタンダード」に定める汎用的能力に加えて、データサイエンス力、マネジメント力、社会実装力を身に付けた学生に「学士（経営情報学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	<p>学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者との対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。</p>	<p>高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的な好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。</p>
専門教育科目	<p>データサイエンス力、マネジメント力、社会実装力を育成するための3つの分野からなるカリキュラムを提供しています。数理・データサイエンス科目では、数学・統計学・情報学などを学ぶとともに、機械学習やAIを活用してデータから価値ある情報を抽出する力を養います。経営学科目では、組織などの構造を理解し、経営学的な視点で課題と解決策を見つけ出す力を養います。総合・社会実装科目では、データサイエンスと経営学の知識と技術を活用して社会に実装する力を養います。カリキュラムは基礎的な内容から専門的な内容へ段階的に学修できるように構成されています。</p>	<p>多様化・複雑化した課題を、データを基にして科学的に分析するための、データサイエンスに関する主要な知識と論点を理解することが必要です。また、多様な組織において経営学的視点から課題を見つけ出し、状況に適した柔軟なマネジメントを行うための、経営学に関する主要な知識と論点を理解することが必要です。また、組織の中でデータサイエンス及び経営学の複眼的な視野を持って、多様な価値観を持つ人と協働して課題を解決するためのコミュニケーション能力が不可欠です。さらに、経営課題やそれに関連するデータを体系的に整理し論理的に思考する力、課題解決に向けて主体的に行動できる力が必要です。</p>

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

データサイエンス経営学科では、理系的な知識と文系的な知識の両方が必要です。高等学校の教科・科目の学習を通して、文系・理系双方の基礎知識をバランスよく身に付けてください。論理的な考え方が重要なので、物事を体系的に整理し、矛盾や飛躍のない筋道を立てた考え方ができるように心がけてください。経済、経営、データ分析、情報技術などの話題について、教科学習や日常生活の中から関心を向けてください。また、課外活動などを通じて、多様な価値観を持つ人と協働する力を身に付けるために、積極的に自分の考えを人に伝えるようにしてください。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

- (1) 求める学生像
- | | |
|---|---|
| ① 高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、文理の基礎知識をバランスよく身に付けてきた人
② 物事を論理的に考えることができる人
③ 多様な人々・組織と協働して、これからの世界や日本、地域社会の創造（創生）に貢献するために、自分の考えを表現し他者に伝えることができる人
④ 情報システムを活かした企業経営や起業に意欲がある人
⑤ 企業、組織活動、組織経営について数理的に分析することに関心がある人
⑥ データ分析、プログラミング、情報ネットワーク等に関心がある人 | ① 高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、文理の基礎知識をバランスよく身に付けてきた人
② 物事を論理的に考えることができる人
③ 多様な人々・組織と協働して、これからの世界や日本、地域社会の創造（創生）に貢献するために、自分の考えを表現し他者に伝えることができる人
④ 情報システムを活かした企業経営や起業に意欲がある人
⑤ 企業、組織活動、組織経営について数理的に分析することに関心がある人
⑥ データ分析、プログラミング、情報ネットワーク等に関心がある人 |
|---|---|

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類（調査書）を総合して選抜を行います。基礎学力、思考力を中心に評価します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等（面接）の結果、並びに出願書類（調査書）を総合して選抜を行います。基礎学力、コミュニケーション能力、データサイエンス・経営学に対する興味関心を中心に評価します。
総合型選抜 A (一般)	大学入学共通テスト、論述試験、面接及び出願書類により選考を行います。基礎学力、論理的思考力、データサイエンス・経営学に対する興味関心を中心に評価します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性等			
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆				
		個別学力検査	☆☆☆	☆☆☆	☆☆		
		出願書類（調査書）				○	
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆				
		面接		☆☆	☆☆☆		☆☆☆
		出願書類（調査書）				○	
総合型選抜 A（一般）	大学入学共通テスト※1	☆☆☆					
	面接		☆☆	☆☆☆		☆☆☆	
	論述試験	☆	☆☆☆	☆☆		☆☆☆	
	出願書類（調査書）				○		

※1 総合型選抜で課す大学入学共通テストの教科は、国語、数学及び外国語の3教科のみです。

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

地域デザイン科学部 コミュニティデザイン学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

地域社会の成り立ちや課題を理解するために必要な、幅広い教養を身につけるとともに、地域の現場を訪れ、体験しながら学修を深めます。「宇大スタンダード」に定める汎用的能力に加えて、公共政策、地方自治、経済、経営、自然、文化、食生活、観光、社会福祉、社会教育、NPO等の専門分野を専攻しながら、これらを活用した地域デザイン能力・分析技術を養います。以上の学びを通じ、地域資源を活用して地域に活力を生み出す能力、新たな社会システムを提案する発想力、そして円滑なコミュニケーションや合意形成を図る実践力を身に付け、21世紀の地域社会の担い手として活躍できる学生に「学士（コミュニティデザイン学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	<p>学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。</p>	<p>高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。</p>
専門教育科目	<p>学部共通科目では、学科の枠を超えて3学科混成のグループで、ディスカッション、フィールドワーク、プレゼンテーション等を通じて、多様な分野を融合した地域デザイン科学を総合的に学修します。学科専門科目では、公共政策、地方自治、経済、経営、自然、文化、食生活、観光、社会福祉、社会教育、NPO等の専門分野を専攻しながら、これらを活用した地域デザイン能力・分析技術を養います。21世紀の地域社会の担い手として、地域の社会集団や制度等をデザインする人材を育成するために、地域社会の成り立ちや課題を理解するための教養を身につけるとともに、地域のさまざまな現場を訪れ、体験しながら学修を深めます。</p>	<p>地域の課題や主題について幅広い視点から理解するための人文・社会科学の基礎的な知識、自然科学分野の理解や社会調査データの解析に必要な数理についての基礎的な知識が必要です。また、地域の現状と課題について実践的に学ぶための現場への訪問・実習及び、教員や学生同士の協働的学修の場面に必要な、基礎的なコミュニケーション能力が不可欠です。さらに、問うべき地域社会の問題を自ら設定する課題設定能力、資料・データ・文献を収集する能力、適切な方法を用いてそれらを分析した上で、論理的にまとめる能力、その成果に基づいて説得的に議論を行なう能力、課題解決に関する実践的行動力を必要とします。</p>

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

文理双方の基礎力を身に付けるとともに、理論的知識が、地域社会とどのような関係を持つのかを意識しながら、学習に取り組んでください。また、日々の生活を送り、読書をし、新聞を読み、メディアを視聴する際にも、地域社会の課題を発見し、その課題解決の方法を見いだすように努力してみてください。そしてその成果について、ぜひ友人、家族、先生、身近な人などに、分かりやすく伝えてみましょう。そうした考えに対する他人の意見に耳を傾け、ディスカッションを通じて、協働的にアイデアを深めていく機会を、積極的に経験し作り出すことを期待しています。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

- (1) 求める学生像
- ① 高等学校の教育課程による広範な基礎的知識を有する人
 - ② 地域の成り立ちを理解し、より良いコミュニティの創成を追究するために必要な技能を身に付ける意欲と適性を有する人
 - ③ 学際的学修へ向けた論理的思考力と表現力を有する人
 - ④ 地域の資源・社会システムの視点から、実践的にまちづくりを学ぶための判断力を身に付ける意欲と適性を有する人
 - ⑤ 地域課題の解決に取り組むための主体性とコミュニケーション力を身に付ける意欲と適性を有する人
 - ⑥ 地域や社会との関わりの中で多様な人々と協働して学ぶ態度を有する人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、「文系型」又は「理系型」のいずれかにより広く基礎学力をはかります。 個別学力検査等では小論文により、課題文や資料(図表や写真など)の読解、解釈を基に自らの考えを立案する能力、及びそれを論理的に表現する能力を問います。地域社会(コミュニティ)を取り巻く課題に取り組む学力、意欲、関心、主体性について評価します。 出願書類(調査書)では、総合的な観点から評価します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、「文系型」又は「理系型」のいずれかにより広く基礎学力をはかります。 個別学力検査等では面接により、自らの考えを立案する能力、及びそれを論理的に表現する能力を問います。地域社会(コミュニティ)についての関心と学修意欲、本学科での適性・能力などを評価します。出願書類(調査書)では、総合的な観点から評価します。
総合型選抜 A (一般)	第1次選考として調査書、事前提出書類(活動経験等を踏まえた進学後の学習について)及びその他提出された書類により選考を行います。また、第2次選考として面接、グループディスカッション、大学入学共通テストの成績等を総合して選考を行います。 各選考は「主体性・多様性・協働性」、「思考力・判断力・表現力」、「知識・技能」を総合して判断します。
私費外国人留学生選抜	出願書類、日本留学試験の成績、英語外部試験(TOEFL)のスコア、本学の学力検査等(小論文、面接)の結果を総合して選抜を行います。小論文では、総合的な理解力、思考力、表現力、面接では、コミュニティデザインに関する意欲、問題意識、視野の広さ、将来設計を問います。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆	☆	
		小論文	☆		☆☆☆		☆☆
		出願書類(調査書)			○		
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆	☆	☆☆
		面接	☆		☆☆		☆☆☆
		出願書類(調査書)			○		
総合型選抜 A(一般)	A(一般)	大学入学共通テスト(注1)	☆☆☆		☆☆	☆	
		グループディスカッション・面接	☆		☆☆		☆☆☆
		出願書類(調査書)			○		
		活動経験等を踏まえた進学後の学習について	☆		☆☆☆		☆☆
私費外国人留学生選抜		英語外部試験	☆☆☆		☆☆	☆	
		日本留学試験	☆☆☆		☆☆	☆	
		面接			☆☆		☆☆☆
		小論文			☆☆☆		☆☆
		出願書類(成績証明書等)			○		

(注1) 総合型選抜で課す大学入学共通テストの教科は、国語、数学及び外国語の3教科のみです。

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否・適・不適等により評価するもの

(ii) ☆~☆☆☆は、点数・段階評価するもの

地域デザイン科学部 建築都市デザイン学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

従来の建築や空間からの発想に加えて、都市や人々などの社会環境も考慮して、地域の実情に合った生活空間をデザインできる人材を育成します。「宇大スタンダード」に定める汎用的能力に加えて、建築・都市デザイン学の基礎を学び一級建築士の国家資格取得に向けた素養を身につけるとともに、先端技術や少子高齢化社会、環境・エネルギー問題、防災・減災へのリスク対策等を学び、現代の社会課題の解決に応用する力・分析技術を養います。以上の学びを通じ、地域資源を活用して地域に活力を生み出す能力、新たな社会システムを提案する発想力、そして円滑なコミュニケーションや合意形成を図る実践力を身に付け、21世紀の地域社会の担い手として活躍できる学生に「学士(工学)」の学位を授与します。卒業と同時に一級建築士の国家試験を受験する資格が得られるカリキュラムです。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	<p>学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。</p>	<p>高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。</p>
専門教育科目	<p>学部共通科目では、学科の枠を超えて3学科混成のグループで、ディスカッション、フィールドワーク、プレゼンテーション等を通じて、多様な分野を融合した地域デザイン科学を総合的に学修します。学科専門科目では、建築・都市デザイン学の基礎を学び、一級建築士の国家資格を取得できる素養を身につけるとともに、建築の先端技術や建築をとりまく社会の構造変化を理解します。また、少子高齢化社会、環境・エネルギー問題、防災・減災へのリスク対策を学び、現代の社会課題の解決に応用する力を養います。さらに、社会をハード・ソフトの両面から支える人材を育成するために、実際の地域課題に取り組むことで建築の仕事に関わる異業種の人々と連携する力を培います。</p>	<p>建築・都市デザインの基礎を学ぶために、高等学校の教育課程による広範な基礎的知識が必要です。また、数学を中心とした理数系科目に関する応用力と、多様な人々と意思疎通をはかるためのコミュニケーション能力が必要です。建築・都市デザインの専門技術を学ぶために、安全・安心で快適な建築空間を創造するために必要な論理的思考力、工学的判断力や、建築設計の基礎となる空間把握能力、表現力、デザイン能力を身に付ける意欲と適性を有している必要があります。また、人間生活・社会・自然を含む地球環境と建築・都市デザインとの関わりや、歴史・文化・芸術を活かした建築・都市空間の創造を追究する態度を有している必要があります。</p>

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

文理双方の基礎力を身に付けるとともに、理論的知識が、地域社会とどのような関係を持つのかを意識しながら、学習に取り組んでください。建築の工学的側面を学修するために、[数学]は基礎・応用力が、[理科]は基礎力が重要です。建築の社会的側面や芸術・文化的側面の学修には、[社会]等への関心も求められます。また論理的な文章を構成できる[国語][英語]の基礎力が重要です。設計製図は、入学後に基礎から学ぶため事前に必要な知識・技能はありませんが、主体的に学ぶ姿勢が重要です。これらの基礎力とともに、建築学の学修と社会貢献への高い意欲をもつ方を歓迎します。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な能力や適性等

- ① 高等学校の教育課程による広範な基礎的知識を有する人
- ② 建築・都市デザインの専門技術を学ぶために必要な基礎的技能や、多様な人々と意思疎通をはかるためのコミュニケーション能力を有する人
- ③ 安全・安心で快適な建築空間を創造するために必要な論理的思考力、工学的判断力を身に付ける意欲と適性を有する人
- ④ 建築設計の基礎となる空間把握能力、表現力、デザイン能力を身に付ける意欲と適性を有する人
- ⑤ 人間生活・社会・自然を含む地球環境と建築・都市デザインとの関わりを学ぶ態度を有する人
- ⑥ 歴史・文化・芸術を活かした建築・都市空間の創造を追究する態度を有する人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、広く基礎学力をはかります。個別学力検査では広く基礎学力に加え、思考力と論理的に記述し表現する能力を重点的に評価するため、主体的に解答に取り組むことが必要な記述式の問題を多く出題します。主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度は出願書類(調査書)等により評価します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、広く基礎学力をはかります。個別学力検査等では面接により、建築・都市デザインに対する関心度や意欲等を問います。主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度は出願書類(調査書)等により評価します。
総合型選抜 A (一般)	造形実技及び面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。造形実技では、立体・空間の構成を把握・表現する能力等を検査します。面接では、建築・都市デザインに対する関心度や意欲等を問います。主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度は出願書類(調査書)等により評価します。
私費外国人留学生選抜	英語外部試験、日本留学試験及び面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験では英語の、日本留学試験では日本語、数学及び理科の基礎学力をはかります。個別学力検査等では面接により、建築・都市デザインに対する関心度や意欲等を問います。主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度は出願書類(調査書)等により評価します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆		
		個別学力検査	☆☆		☆☆☆		
		出願書類(調査書)			○		
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆		
		面接	☆	☆☆	☆☆		☆☆☆
		出願書類(調査書)			○		
総合型選抜 A(一般)	面接	☆	☆☆	☆☆		☆☆☆	
	造形実技	☆☆		☆☆☆			
	出願書類(調査書)			○			
私費外国人留学生選抜	英語外部試験	☆☆☆					
	日本留学試験	☆☆☆		☆☆			
	面接	☆	☆☆	☆☆		☆☆☆	
	出願書類(成績証明書等)			○			

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆~☆☆☆は、点数・段階評価するもの

地域デザイン科学部 社会基盤デザイン学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

地域社会の成り立ちや課題を理解するために必要な、幅広い教養を身につけるとともに、地域の現場を訪れ、体験しながら学修を深めます。「宇大スタンダード」に定める汎用的能力に加えて、生活の向上や社会経済の発展を支える社会基盤、すなわち電気・水・情報通信などのライフラインや道路、橋梁、港湾、建設材料、エネルギー施設、河川、環境、防災、マネジメント等の専門分野を専攻しながら、これらに応用した地域デザイン能力・分析技術を養います。以上の学びを通じ、地域資源を活用して地域に活力を生み出す能力、新たな社会システムを提案する発想力、そして円滑なコミュニケーションや合意形成を図る実践力を身に付け、21世紀の地域社会の担い手として活躍できる学生に「学士(工学)」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	<p>学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者との対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。</p>	<p>高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。</p>
専門教育科目	<p>学部共通科目では、学科の枠を超えて3学科混成のグループで、ディスカッション、フィールドワーク、プレゼンテーション等を通じて、多様な分野を融合した地域デザイン科学を総合的に学修します。学科専門科目では、生活の向上や社会経済の発展を支える社会基盤、すなわち電気・水・情報通信などのライフラインや道路、橋梁、港湾、建設材料、エネルギー施設、河川、環境、防災、マネジメント等の専門分野を専攻しながら、これらに応用した地域デザイン能力・分析技術を養います。21世紀の地域社会の担い手として、地域の社会集団や制度等をデザインする人材を育成するために、地域社会の成り立ちや課題を理解するための教養を身につけるとともに、地域のさまざまな現場を訪れ、体験しながら学修を深めます。</p>	<p>地域の課題や主題について幅広い視点から理解するための工学・自然科学分野の基礎的な知識、特に数学と物理の基礎的理解と応用力は不可欠です。また、社会科学の理解や社会調査データの解析に必要な数理についての基礎的な知識が必要です。また、地域の現状と課題について実践的に学ぶための現場への訪問・実習及び、教員や学生同士の協働的学修の場面に必要な、基礎的なコミュニケーション能力が不可欠です。さらに、問うべき地域社会の問題を自ら設定する課題設定能力、資料・データ・文献を収集する能力、適切な方法を用いてそれらを分析した上で、論理的にまとめる能力、その成果に基づいて説得的に議論を行なう能力、課題解決に関与する実践的行動力を必要とします。</p>

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

文理双方の基礎力を身に付けるとともに、理論的知識が、地域社会とどのような関係を持つのかを意識しながら、学習に取り組んでください。理工学教育のための数学や物理、化学など自然科学の基礎力、表現力の基となる国語・英語、社会的基礎知識である歴史や地理、公民など、幅広く学習することを期待します。当学科の入学試験の内容は、道路や鉄道、河川、港湾などインフラ施設や社会基盤をデザインする人材の成長のきっかけとなることを目指した内容になりますが、その多くが主体的に学ぶ姿勢が重要になります。皆さんが学習を通して習得する基礎力とともに、入学後に学ぶ社会基盤整備への関心と社会貢献への高い意欲を持つことを望みます。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な能力や適性等

- ① 社会基盤の専門分野を学ぶ上での基礎となる高等学校までの科目の学習内容を十分理解している人
- ② 高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力を備えている人
- ③ 社会基盤の専門分野に興味と関心があり、科学的、論理的に思考し、判断や表現ができる人
- ④ 学習の熱意や意欲及び行動力をもつ人
- ⑤ 社会全体の利益のために奉仕できる責任感と国内・海外の様々な地域の課題解決のためにグローバルに活躍する意欲がある人
- ⑥ 主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度及びそのためのコミュニケーション力が身につけている人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、広く基礎学力をはかり、理科では物理を必須科目としています。個別学力検査等では基礎学力に加え、思考力と論理的に記述し表現する能力を評価するため、主体的に解答に取り組むことが必要な記述式の問題を多く出題します。主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度は出願書類(調査書)等により評価します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。大学入学共通テストでは、広く基礎学力をはかり、理科では物理を必須科目としています。個別学力検査等では、面接により、まちづくり及び社会基盤(インフラ)に関するあなたの考えを問います。主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度は出願書類(調査書)等により評価します。
総合型選抜 A (一般)	プレゼンテーション、面接を総合して選考を行います。なお、面接では理工学教育を受けるための基礎能力に関する数学と物理の口頭試問を含みます。社会基盤デザイン分野に関する関心度や意欲、問題意識、視野の広さ、希望進路などを問い、総合して判断します。
私費外国人留学生選抜	基本的な学力と思考力を備えているかどうかを重視します。 地域における社会基盤デザインに対する熱意と問題解決に対する能力を評価の対象とします。 主体的な姿勢、論理的思考力、表現力、コミュニケーション能力なども考慮して評価します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆☆		
		個別学力検査	☆☆		☆☆☆	☆☆	
		出願書類(調査書)			○		
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆☆		
		面接			☆☆		☆☆☆
		出願書類(調査書)			○		
総合型選抜 A(一般)	プレゼンテーション・面接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
	出願書類(調査書)			○			
私費外国人留学生選抜	英語外部試験	☆☆☆					
	日本留学試験	☆☆☆		☆☆			
	学力検査	☆☆☆		☆☆	☆		
	面接	☆☆				☆☆☆	
	出願書類(成績証明書等)			○			

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆~☆☆☆は、点数・段階評価するもの

国際学部 国際学科

アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

国際学科では、グローバル化する地域の現状と課題を多文化共生の視点から読み解き、社会を構想していく能力やコミュニケーション能力、行動力、協調性を備えた、グローバルな実践力をもつ人材の育成をめざしています。「宇大スタンダード」に定める汎用的能力に加えて、グローバル化と多文化共生に関する知識・理解に基づき学際的かつ専門的に諸課題を考察する能力、複言語能力やコミュニケーション能力、資料・データ・文献の収集分析能力、論理的に研究成果をまとめ発表し議論する能力、実践的に行動する能力を獲得し、グローバル化する世界の問題解決に積極的に関与できる学生に「学士（国際学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	<p>学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者との対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。</p>	<p>高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的な好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。</p>
専門教育科目	<p>国際学科では、グローバルな実践力に富む人材の育成を目指し、人文社会諸科学を融合させた体系的なカリキュラムを編成しています。多文化共生コア科目（国際関係論、異文化間コミュニケーション、Global Civil Society）(1年次)、多文化共生基礎科目（1～2年次）から専門外国語科目（2年次～）、グローバル専門科目（2年次～）、国際キャリア教育科目（2年次～）、専門演習・実験実習科目（3年次前期）の各科目群を経て、卒業研究準備演習（3年次後期）、卒業研究（4年次）へと段階的に学修を深めていきます。</p>	<p>多文化共生を軸とした専門教育の基礎となる主要な知識、論点を理解する能力、実用的かつ学術的な英語の運用能力、英語以外の外国語を学修し、多様な地域や文化を理解しコミュニケーションを図ろうとする意欲や態度を有していること。また、社会文化的課題や問題を多様な地域や論点と関連づけ、多角的に理解する能力、グローバルな視点から問題を整理・分析する能力、自ら課題を設定し、資料・データ・文献を収集し、適切な方法で分析し、論理的にまとめ発表する能力（文書及び口頭）、その成果に基づいて生産的に議論する能力、課題解決に関与する実践的行動力を身につけるための基礎的学力と意欲を必要とします。</p>

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

国際学科における教育課程を確実に修得するためには、高等学校で履修する教科・科目を広く学び、基礎的な知識を身につけておくことが求められます。また、様々な知識や情報をもとに、自分の考えをまとめ発信するためには、読解力に加え、論理的に考えを文章化する能力や、思考と感性を効果的に相手に伝える表現力、英語を中心とした外国語の運用能力が必要です。また、国際的な社会的文化的事象に対して幅広い知識と関心を持ち、自分の関心のあるテーマについては、図書館やインターネットなどを利用して自分で調べる習慣や、調べたことをもとに多様な人々とコミュニケーションをとる能力や意欲を持っていることが重要です。上記のことに加え、学習活動などを通して、主体性をもって他の人々と協働し、共に学び合うという態度をもった学生を歓迎します。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

- (1) 求める学生像
- | | |
|---------------|---|
| 入学時に必要な能力や適性等 | ① 高等学校教育課程の総合的学力を基礎とした広く基本的な知識を持ち、外国語の運用能力と、論理的な作文能力を備えている人 |
| | ② 多文化共生社会に関する問題について主体的に探求し、学修意欲に優れ、多様な現象について論理的に考え、思考と感性を表現することに適性を持っている人 |
| | ③ 学修経験や国籍に関係なく、国際的な問題に高い意識を持ち、それらを論理的に論じることのできる能力を持っている人 |
| | ④ 多様な外国語や情報収集・分析・発信の方法を学び、多様な地域や文化を背景とする人々とコミュニケーションをとりたいと思っている人 |
| | ⑤ 多様な地域・文化を背景とする人々の存在に目を向け、共に学びあいながら、共に生きていく社会について考えたいと思っている人 |
| | ⑥ 世界の様々な国と地域に関心を持ち、グローバル化する地域と世界の多文化共生のために自分の力を活かしたいと望んでいる人 |

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テストと個別学力検査等の結果、並びに出願書類(調査書)を総合して選抜を行います。広範かつ基本的な知識、それを活用した国際的な社会的文化的事象についての思考力・判断力・表現力、本学科での学修に必要な基礎的な外国語運用能力、主体性等をみることに主眼をおきます。
学校推薦型選抜	出願書類(調査書、自己推薦書等)と面接を総合して選抜を行います。高等学校における学業成績等と、本学科で学ぶための適性や意欲、コミュニケーション能力、国際的な社会的文化的事象に関する課題を理解し、知識を活用して導き出した自分の考えを自分の言葉で語ることで表現力をみることに主眼をおきます。
総合型選抜 B (帰国生)	出願書類(成績証明書等)、小論文、英語外部試験のスコア、そして面接を総合して選抜を行います。国際的な社会的文化的事象に対する関心、主体的かつ協動的に学修する意欲、文章理解力、思考力、論理構成力、表現力、帰国生としてこれまでに得た知識や経験を活用する力等、本学科で学修する適性と必要な学力をみることに主眼をおきます。
総合型選抜 C (社会人)	出願書類(志望理由書等)、小論文、英語外部試験のスコア、そして面接を総合して選抜を行います。国際的な社会的文化的事象に対する関心、主体的かつ協動的に学修する意欲、文章理解力、思考力、論理構成力、表現力、社会人としてこれまでに得た知識や経験を活用する力等、本学科で学修する適性と必要な学力をみることに主眼をおきます。
総合型選抜 D (外国人生徒)	出願書類(志望理由書等)、小論文、英語外部試験のスコア、そして面接を総合して選抜を行います。国際的な社会的文化的事象に対する関心、主体的かつ協動的に学修する意欲、文章理解力、思考力、論理構成力、表現力、外国人生徒としてこれまでに得た知識や経験を活用する力等、本学科での学修に必要な学力をはかり、適性をみることに主眼をおきます。
私費外国人留学生選抜	出願書類(成績証明書等)、日本留学試験の成績、英語外部試験のスコア、学力検査等を総合して選抜を行います。大学で学ぶための基礎学力を重視し、日本留学試験では「日本語」「総合科目」「数学(コース1)」を評価対象とします。国際的な社会的文化的事象に対する関心、主体的かつ協動的に学修する意欲、論理的に考察する力、日本語を正確に理解し、表現する力、これまでに得た知識や経験を活用する力等、本学科での学修に必要な学力をはかり、適性をみることに主眼をおきます。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥	
「学力の3要素」との対応		知識・技能	思考力・判断力・表現力			主体性等		
一般選抜 前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆				
	個別学力検査	☆☆☆	☆☆	☆				
	小論文	☆☆☆	☆☆					
	出願書類(調査書)				○			
学校推薦型選抜	面接	☆		☆☆☆		☆☆☆		
	英語外部試験	○						
	出願書類(自己推薦書等)	☆☆☆		☆☆☆		☆☆☆		
総合型選抜	B(帰国生)	英語外部試験	☆☆☆			☆		
		面接	☆		☆☆☆		☆☆☆	
		小論文	☆☆		☆☆☆	☆	☆	
		出願書類(成績証明書等)				○		
	C(社会人)	英語外部試験	☆☆☆			☆		
		面接	☆		☆☆☆		☆☆☆	
		小論文	☆☆		☆☆☆	☆	☆	
		出願書類(志望理由書等)	☆☆☆		☆☆☆		☆☆☆	
D(外国人生徒)	英語外部試験	☆☆☆			☆			
	面接	☆		☆☆☆		☆☆☆		
	小論文	☆☆		☆☆	☆	☆		
	出願書類(志望理由書等)	☆☆☆		☆☆☆		☆☆☆		
私費外国人留学生選抜	英語外部試験	☆☆☆			☆			
	日本留学試験	☆☆☆			☆			
	面接	☆		☆☆☆		☆☆☆		
	小論文	☆☆☆		☆☆	☆	☆		
	出願書類(成績証明書等)				○			

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否・適・不適等により評価するもの
 (ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

共同教育学部 学校教育教員養成課程 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

本学部は4系13分野（教育・教育心理・特別支援教育・国語・社会・英語・数学・理科・技術・音楽・美術・保健体育・家政）から構成されています。群馬大学との共同教育学部であり、卒業単位のうち一部の授業は双方向遠隔授業システムを使って実施しています。また、2年次、3年次には両大学合同での対面授業も行われます。小学校1種及び所属分野の教科等を主とした中学校・高等学校1種、あるいは特別支援学校1種の教員免許の取得を目指すことができます。学部全体では小・中・高・特別支援学校及び幼稚園の全校種に対応した教員養成プログラムを整備し、多様な教育現場での活躍を視野に学修できる体制を整えています。プログラムにはこれらの教員免許を取得するための授業科目と教育実習等の教育実践科目があります。教育実践科目では附属学校での教育実習をはじめ学校現場での豊富な実践的活動が展開されています。共同教育学部ではこのプログラムで「宇大スタンダード」に定める汎用的能力と専門分野に関する知識・技能を獲得した学生に「学士（教育学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	<p>学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分で設計していきます。</p>	<p>高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。</p>
専門教育科目	<p>共同教育学部では、各種教員免許を取得するため、また、実践的指導力のある教員を養成するためのカリキュラムを構成しています。専門教育科目として、全ての学校種の教員としての基礎となる教育原論や教職論等の教育基礎科目、小学校の教科内容・指導法に関する授業科目、中学校・高等学校・特別支援学校の教員免許のための専門知識・技能や指導法の授業科目があります。さらに、学校現場での子どもへの指導や関わりを通して実践力を高める教育実践科目を備えています。</p>	<p>教育基礎科目や小学校の教科内容・指導法に関する科目は、学部の全ての学生が受講します。群馬大学との遠隔授業が多く含まれます。知識を獲得するだけでなく、両大学の学生と共に学び合う意欲や姿勢が求められます。中学校・高等学校・特別支援学校の教員免許のための専門知識・技能や指導法の授業科目では、その教科や学校種の教員になるための強い興味や関心、教科の学力が必要です。教育実践科目では、児童・生徒や学校現場の教員と関わりながら学ぶ意思、使命を持ってやり抜く意欲や態度が求められます。</p>

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

「教師」という職業への興味・関心を高めてください。探究活動などで教師の仕事や使命について調べ、省察してみるのも良いでしょう。特定の教科の先生を目指す人は、その教科の知識・技能を磨き、より深く追究してください。教師という仕事の特性から、「人」に興味を持ち、人と関わり合うこと、身近なことから世界のことまで幅広く興味を持ち、視野を広げること、多様なジャンルの読書から学ぶことなども大切です。また、教師はこれからの教育を牽引する職業でもあります。課外活動など、正課の授業だけでは得られない新しい体験にも積極的に臨み、そこから学んだことをよく振り返りましょう。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

- (1) 求める学生像
- ① 高等学校における履修内容を理解し、教職をめざすために必要な基礎学力を身につけている人
 - ② 自己の考えを的確に表現し他者に伝えることができ、他者が表現する考えを受けとることができる人
 - ③ ものごとを複数の視点から考察し、自ら判断することができる人
 - ④ 「学ぶ」「教える」「育てる」「発達する」という行為・現象について関心があり、これらのことについて学習意欲のある人
 - ⑤ 様々な活動に主体的に取り組むことができると共に、他者と協働することができる人
 - ⑥ 教職を目指す明確な意思と情熱を有し、子どもの成長に関わることに喜びを感じられる人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト、及び個別学力検査等の結果を総合して各系ごとに選抜を行います。大学入学共通テストでは基礎学力を評価します。個別学力検査等では、教育人間科学系、人文社会系、自然科学系の3つの系で小論文と面接を、芸術・生活・健康系の中の音楽・美術・保健体育分野で実技検査と面接を、家政分野で小論文と面接を課します。面接では全ての系に共通して教職への関心や適性を問います。
総合型選抜 A (一般)	教職に携わる意欲、子どもの発達と教育への関心、それぞれの学校種・教科の教育方法を学ぶために必要な基礎的知識、論理的思考力、表現力、主体性等を多面的・総合的に評価します。 出願書類及び各分野で課す選抜方法を総合して選抜を実施します。
学校推薦型選抜	将来、栃木県の小学校教員として活躍することに強い希望と意思を持ち、小学校教員としての適性を有する人を選抜します。学校教育教員養成課程全体で一つの選抜を行います(※1)。 出願書類と合わせて、面接及び小論文の試験を課します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応		知識・技能	思考力・判断力・表現力			主体性等	
一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト	☆☆☆					
	面接			☆☆		☆☆	☆☆☆
	小論文※2	☆☆	☆☆	☆☆☆			
	実技検査※2	☆☆☆					
	出願書類(調査書)				○		
総合型選抜 A (一般)	出願書類(スポーツ活動調査書)※3	☆☆					
	講義レポート作成※4			☆☆☆			
	グループディスカッション※4				☆☆☆	☆☆	
	小論文※4	☆☆		☆☆☆			
	基礎能力試験※4	☆☆☆					
	実技検査等※4	☆☆☆					
	プレゼンテーション及び面接※4	☆☆	☆☆☆		☆☆	☆	☆☆
	面接※4	☆☆	☆☆☆		☆☆	☆	☆☆
出願書類(調査書)				○			
学校推薦型選抜	出願書類(志望理由書)				○		
	出願書類(受験者本人が記載する活動報告書等)※5		☆☆☆			☆	
	面接		☆☆		☆☆☆	☆	☆☆☆
	小論文	☆☆	☆☆	☆☆☆			
	出願書類(調査書)				○		
	出願書類(推薦書)				○		

※1 入学者の系・分野振り分けは入学時に本人の希望等により決定します。
 ※2 芸術・生活・健康系音楽分野、美術分野、保健体育分野では実技検査を課します。これら以外の分野では、小論文を課します。
 ※3 保健体育分野の選抜で課されます。
 ※4 総合型選抜 A(一般)では各分野ごとに課す検査が異なります。詳細は各選抜の選抜方法を参照ください。
 ※5 教育分野、英語分野、理科分野、音楽分野及び保健体育分野の選抜で課されます。内容は、各分野ごとに異なります。
 (i) ○は、確認・参考のみとするもの、あるいは合・否、適・不適等により評価するもの
 (ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

工学部 基盤工学科

アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

各自の志向に合った専門を極めつつ幅広い知識をも備え、様々な知見と技術を繋いで新しい社会を創出できる技術者を養成します。工学的視点で社会・人間・生命を見つめるための教養と工学に関わる基礎学力を身につけ、種々の技術分野の概要と最新動向に関する知識を得て、各自の志望コース（応用化学、機械システム工学、情報電子オプティクス）を選択します。各々の専門知識を蓄え関連技術を修得しながら、その周辺分野に学修範囲を広げます。さらに「卒業研究」を通して、柔軟な発想で新技术を創生する力と、それを社会へ適用するデザイン力を身につけます。「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（工学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	<p>学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1) 大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2) 英語や健康、データサイエンス、SDGs など、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3) 自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者との対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。</p>	<p>高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。</p>
専門教育科目	<p>1年次には、線形代数・微積分学、物理・化学、データ科学など、工学を学ぶ上で必須の基礎知識を学修します。また、ものづくりを実践する科目、心/身体と工学との結びつきを学ぶ科目、コース入門科目により各専門分野の概要と最新動向に触れ、コース選択の準備をします。</p> <p>2年次以降、コース専門科目群により各々の高度な専門知識や技能を身につけます。さらに、卒業研究を通じて、問題解決力・デザイン力を養います。また、光工学科目群、分野横断科目群により幅広い専門性を身につけます。</p>	<p>本教育課程に沿って主体的・継続的に学修するためには、高等学校教育課程の特に化学・物理・数学など理数系科目に関する基礎学力を身につけておくことが必要です。また、応用化学・機械システム工学・電気電子工学・情報科学・光工学など、工学の専門分野のいずれかに強い興味と関心を持ち、“将来工学技術者として社会に貢献したい”という熱意を持つことが望まれます。さらに、物事を科学的、論理的に思考し判断しようとする姿勢、その経過や結果を他者に適切に伝えようとする姿勢が、社会で活躍できる技術者・研究者に成長するために必要です。</p>

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

工学の基盤となる概念や法則の学修に備え、「数学」や「理科」等の基礎知識と、それを基に物事を科学的に捉える習慣を身につけましょう。また、実験などの共同作業、レポート作成、研究発表等の機会が頻繁にあるので、「国語」や「英語」で文章の読解力や記述力を身につけ、コミュニケーション力やプレゼンテーション力を養って下さい。課題解決に主体的に取り組み、得られた成果を次の課題設定に活かすという経験も貴重です。加えて、倫理観を備え、地域や人々の多様性を理解し、社会で広く活躍できる技術者・研究者に育つために、地歴公民に関する一般知識や常識を学習しておきましょう。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な能力や適性等

- ① 高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力を備えている人
- ② 「工学の専門分野*」を学ぶ上で基礎となる高等学校までの科目の学習内容を十分理解している人
- ③ 科学的、論理的に思考し、判断や表現ができる人
- ④ 「工学の専門分野*」に興味と関心があり、それを活用した工夫やものづくりによって社会に貢献する熱意や行動力をもつ人
- ⑤ 主体性をもちつつ、様々な人々と協働して学ぶ姿勢や必要なコミュニケーション力をもつ人

*「工学の専門分野」とは、化学・機械・情報・電気電子・光工学の各専門分野を指します。

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	「化学系」と「機械・情報電子系」の2つの入試区分にわけて募集します。入試区分毎に定めた配点割合にしたがって、主として共通テストと個別学力検査等(数学・理科・英語)の結果を総合し、入学者を選考します。共通テストの結果より、高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力について評価します。個別学力検査等により、「工学の専門分野*」を学ぶための基礎能力を評価します。
一般選抜 (後期日程)	基盤工学科として一括募集します。主として共通テストと個別学力検査等(小論文)の結果を総合し、入学者を選考します。共通テストの結果より、高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力について評価します。個別学力検査等(小論文)により、「工学の専門分野*」への興味・関心の深さと論理的思考能力を評価します。
総合型選抜 A (一般)	「化学系」と「機械・情報電子系」にわけて募集し、それぞれにおいて出願書類審査(自己推薦書とプレゼンテーション資料の内容)、プレゼンテーションと質疑応答、及び面接の結果を総合して入学者を選考します。プレゼンテーションの内容は、「化学系」では化学あるいは理科全般に関して取り組んだ課題、「機械・情報電子系」では理数系分野に関して取り組んだ課題に関するものとします。またそれに対する質疑応答には、「化学系」では「化学」の、「機械・情報電子系」では「数学」や「物理」の基礎知識の確認も含まれます。面接に関しては、入学後の抱負や勉学に対する意欲などのほか、関連する「工学の専門分野*」への興味と関心の強さをそれぞれ評価します。
総合型選抜 A (特別) 未来デザイン型入試	GSC事業等のプログラムの修了者**を対象として、「化学系」と「機械・情報電子系」にわけて募集し、それぞれにおいて出願書類審査(自己推薦書とプレゼンテーション資料の内容)、プレゼンテーションと質疑応答及び面接の結果を総合して入学者を選考します。プレゼンテーションと質疑応答及び面接は、総合型選抜(一般)と同様に行いますが、それに加えて、未来を切り開いていこうとする夢と情熱を強く持ち、入学後、他の学生を感化し牽引できるようなリーダーシップを有しているかどうかとも評価します。
学校推薦型選抜	一般推薦として「化学系」と「機械・情報電子系」の2つの入試区分にわけて募集します。調査書及び基礎能力試験(数学・理科・英語)と面接の結果を総合し、入学者を選考します。調査書及び基礎能力試験の結果より、高等学校の教育課程を踏まえた広範な基本的な学力と思考力について評価します。面接により、それぞれの系に関連する「工学の専門分野*」への興味・関心の深さと論理的思考能力を評価します。この他、「機械・情報電子系」では専門高校・総合学科推薦枠でも募集します。選抜方法は一般推薦と同じですが、面接では、高校等における専門分野に関する学習や経験についての試問があります。
私費外国人留学生選抜	基盤工学科として一括募集します。主として日本留学試験、英語外部試験及び学力検査(数学・理科)の結果を総合し、入学者を選考します。英語外部試験及び学力検査により、工学部で学ぶための基礎能力を評価します。面接により、「工学の専門分野*」への興味・関心の深さと論理的思考能力などを評価します。

** GSC事業等のプログラムの修了者とは、科学技術振興機構の支援を受けて大学等で実施する高校生等を対象としたグローバルサイエンスキャンパス事業及びそれらの後継事業、ならびに次世代科学技術チャレンジプログラム事業の第一階修了者を指します。詳細は学生募集要項を参照ください。

2年次からのコース配属に関するルールは入試区分毎に異なります。詳細は右記リンクを御確認下さい。



(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤
「学力の3要素」との対応		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆☆☆	☆
		個別学力検査	☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆
	出願書類(調査書)			○		
一般選抜	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆	☆☆☆	☆
		小論文			☆☆☆	☆☆
	出願書類(調査書)			○		
総合型選抜	A(一般)	プレゼンテーション・面接	☆☆		☆☆☆	☆☆☆
		出願書類(調査書)			○	
	出願書類(自己推薦書)	☆☆		☆☆☆	☆☆	
	A(特別)	プレゼンテーション・面接	☆☆		☆☆☆	☆☆☆★
		出願書類(調査書・GSC事業等の修了証)			○	
出願書類(自己推薦書)	☆☆		☆☆☆	☆☆		
学校推薦型選抜	基礎能力試験	☆☆☆	☆	☆		
	面接			☆☆	☆☆☆	☆☆☆
	出願書類(推薦書)			○		
	出願書類(調査書)	☆☆		☆		☆☆
私費外国人留学生選抜	英語外部試験		☆☆☆		☆☆	
	日本留学試験	☆☆☆	☆	☆☆	☆	
	学力検査	☆☆☆		☆☆	☆	
	面接			☆☆	☆☆☆	☆☆☆
	出願書類(成績証明書等)			○		

- (i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの
- (ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの
- (iii) ★は、☆に加えて点数・評価に加算のあることを示す。

農学部 フロンティア食品科学科

アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

生物資源のさまざまな可能性、特に嗜好と健康に与える影響について明らかにし、加工による食品の機能強化や生物資源の持続的活用などの科学技術の発展のために、基本的かつ応用的な教育研究を行います。食品や食材などの新しい未来を開拓することで、持続可能で健全な食の推進など農学のポストハーベスト分野で社会に貢献することのできる行動的知性を備えた人材（技術者）を育成します。

「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	<p>学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1) 大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2) 英語や健康、データサイエンス、SDGs など、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3) 自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。</p>	<p>高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。</p>
専門教育科目	<p>学部共通科目として、農学リテラシー科目、自然科学基礎科目、『研究への扉』の科目群を学びます。持続可能で健全な食社会を推進する人材を育成するため、以下の専門科目群を開設します。</p> <p>『食品の材料の科学』科目群：生物資源や食品などの可能性を解明する知識を修得する。</p> <p>『食品の加工・機能性の科学』科目群：食品の加工による機能強化、生物資源の持続的活用に関する知識を修得する。</p> <p>『実験・実習・演習』科目群：食品の嗜好、健康への影響の評価に必要な科学的技能を修得する。</p> <p>『健全な食の科学』科目群：広い視点で、農学関連分野における価値創出力と課題解決力を培う。</p>	<p>食品の加工による機能強化や生物資源の持続的活用など、科学技術発展に貢献する意欲を持っていることが望まれます。食品や食材などの新しい未来の開拓や持続可能で健全な食の推進について幅広い視点から理解するため、高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけていることが必要です。また、身近な地域の課題や地球規模の問題などに対して、学んだ知識に基づき、道筋をたてて様々な側面から考察することができる基礎的な課題解決力を必要とします。さらに、他者と協働するためのコミュニケーション能力が不可欠です。</p>

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけてください。また、教科学習を通して、知識を組み合わせる道筋をたて、色々な面から考察することのできる力を身につけてください。学校等における学びやクラブ活動等の場において、積極的に他の人とコミュニケーションをとり、協働することを心がけてください。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

- (1) 求める学生像
- ①高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎的な知識を備えている人
 - ②フロンティア食品科学の基礎となる理科(化学あるいは生物)及び英語などについての基礎的な知識と学力を備えている人
 - ③様々なデータを読み取り、思考し、判断する力を備えている人
 - ④フロンティア食品科学における諸問題の解決策を他者と共有するための表現力を備えている人
 - ⑤常に問題意識を持ち、解決に向けて主体的に考え、行動を起こす意欲と能力を備えている人
 - ⑥農学分野の現場で多様な人達と協働するためのコミュニケーション能力を備えている人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では理科(化学あるいは生物)及び英語についての知識や思考力を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書)を使用します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは、「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では面接により、思考力、表現力、学修への主体性、コミュニケーション能力等の資質を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書)を使用します。
総合型選抜 A (一般)	出願書類、面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション(以下、GDと略す)、GDのレポートを総合して選抜を行います。本学科で学ぶ適性を見るために、面接では意欲、主体性、コミュニケーション能力、思考力、表現力を、論述試験では思考力、表現力、フロンティア食品科学で必要とされる基礎学力を、GDでは主体性、判断力、協働力、コミュニケーション能力を、レポートでは思考力、判断力を中心に評価します。また、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書等)を使用します。
総合型選抜 A (特別) 未来デザイン型入試	出願書類、プレゼンテーション及び質疑応答を含む面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション(以下、GDと略す)、GDのレポートを総合して選抜を行います。上記の総合型選抜 A(一般)の内容に加えて、グローバルサイエンスキャンパスなどにおける探究活動のプレゼンテーション(5分)及び質疑応答では、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体性について評価します。また、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書等)を使用します。
学校推薦型選抜	出願書類、面接、小論文を総合して選抜を行います。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、基礎知識、思考力、表現力などを評価します。小論文では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書)を使用します。
私費外国人留学生選抜	英語外部試験、日本留学試験及び面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験、日本留学試験では、入学後の学びの基盤となる語学力、基礎学力、思考力、判断力を評価します。面接では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、基礎学力、表現力、主体性及び学修意欲を評価します。また、学びの取り組みを確認するために出願書類(成績証明書等)を使用します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆		
		個別学力検査	☆☆☆		☆☆	☆	
		出願書類(調査書)				○	
一般選抜	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆		
		面接			☆☆		☆☆☆
		出願書類(調査書)				○	
総合型選抜	A(一般)	論述試験	☆☆		☆☆		
		面接			☆☆		☆☆
		GD・レポート	☆		☆☆		☆
	出願書類(調査書)				○		
	出願書類(自己推薦書)				○		
	A(特別)	論述試験	☆☆		☆☆		
面接				☆☆		☆☆	
GD・レポート		☆		☆☆		☆	
総合型選抜	A(特別)	プレゼンテーション・質疑応答	☆☆		☆☆☆		☆☆
		出願書類(調査書)				○	
		出願書類(自己推薦書)				○	
学校推薦型選抜	面接	小論文	☆☆		☆☆		☆☆☆
		出願書類(推薦書)	☆☆	☆	☆☆☆		
		出願書類(調査書)				○	
私費外国人留学生選抜	面接	英語外部試験	☆☆☆				
		日本留学試験	☆☆☆		☆☆		
		出願書類(成績証明書等)	☆☆		☆☆		☆☆☆
					○		

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否・適・不適等により評価するもの
(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

農学部 生物生産イノベーション科学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

動物・植物・昆虫・微生物・土壌を対象に生物生産の過程や仕組み、生命科学などについて理解を深めるとともに、そこで得た知識を実社会で活用することができるように、アクティブラーニングを導入した教育プログラムを編成しており、農学関連分野においてイノベーションを創出できる行動的知性を備えた人材（技術者）を養成します。

「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	<p>学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。</p>	<p>高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。</p>
専門教育科目	<p>学部共通科目として、農学リテラシー科目、自然科学基礎科目、『研究への扉』の科目群を学びます。生物生産科学の専門性とイノベーションの基礎を修得した人材の育成のため、以下の専門科目群を開設します。</p> <p>生物生産基礎科目群：生命科学や生物生産を学ぶために必要な自然科学の基礎を修得する。</p> <p>生物生産応用科目群：生物を解析し、活用するための基礎的な技能や実践的能力を養う。</p> <p>生物生産基幹科目群：生物生産の観点から生物や農業を取り巻く環境を理解する。</p> <p>生物生産イノベーション科目群：農学関連産業に直結した実践的な知見と先進的な技術を身につける。</p>	<p>自然科学の基礎理論と、生物生産に関わる基礎知識を理解し、農学における技術革新に貢献する意欲を持っていることが望まれます。農学関連産業の意義と重要性について幅広い視点から理解するため、高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけていることが必要です。また、身近な地域の課題や地球規模の問題などに対して、学んだ知識に基づき、道筋をたてて様々な側面から考察することができる基礎的な課題解決力を必要とします。さらに、他者と協働するためのコミュニケーション能力が不可欠です。</p>

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけてください。また、教科学習を通して、知識を組み合わせる筋道をたてて、色々な面から考察することのできる力を身につけてください。学校等における学びやクラブ活動等の場において、積極的に他の人とコミュニケーションをとり、協働することを心がけてください。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な能力や適性等

- ①高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎的な知識を備えている人
- ②生物生産イノベーション科学の基礎となる理科(生物あるいは化学)及び英語などについての基礎的な知識と学力を備えている人
- ③様々なデータを読み取り、思考し、判断する力を備えている人
- ④生物生産イノベーション科学における諸問題の解決策を他者と共有するための表現力を備えている人
- ⑤生物生産イノベーション科学関連分野への関心と問題意識を持ち、解決に向けて主体的に考え、行動を起こす意欲と能力を備えている人
- ⑥農学分野の現場で多様な人達と協働するためのコミュニケーション能力を備えている人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では理科(生物又は化学)及び英語についての知識や思考力を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書)を使用します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは、「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では面接により、思考力、表現力、学修への主体性、コミュニケーション能力等の資質を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書)を使用します。
総合型選抜 A (一般)	出願書類、プレゼンテーション及び質疑応答、面接を総合して選抜を行います。プレゼンテーション及び質疑応答では、高等学校などにおける理科全般あるいは生物に関する探究活動について発表し、質問に答えるとともに、他者の発表についても質問してもらい、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体性について評価します。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、思考力、表現力などを評価します。また、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書等)を使用します。
総合型選抜 A (特別) 未来デザイン型入試	出願書類、プレゼンテーション及び質疑応答、面接を総合して選抜を行います。プレゼンテーション及び質疑応答では、グローバルサイエンスキャンパスなどにおける探究活動について発表し、質問に答えるとともに、他者の発表についても質問してもらい、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体性について評価します。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、思考力、表現力などを評価します。また、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書等)を使用します。
学校推薦型選抜	出願書類、面接、小論文を総合して選抜を行います。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、基礎知識、思考力、表現力などを評価します。小論文では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書)を使用します。
私費外国人留学生選抜	英語外部試験、日本留学試験及び面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験、日本留学試験では、入学後の学びの基盤となる語学力、基礎学力、思考力、判断力を評価します。面接では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、基礎学力、表現力、主体性及び学修意欲を評価します。また、学びの取り組みを確認するために出願書類(成績証明書等)を使用します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆			
	後期日程	個別学力検査	☆☆☆	☆☆	☆		
		出願書類(調査書)			○		
総合型選抜	A(一般)	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆			
		面接			☆☆	☆☆☆	
		出願書類(調査書)			○		
		出願書類(自己推薦書)			○		
	A(特別)	プレゼンテーション・質疑応答	☆☆		☆☆☆		☆
		面接	☆		☆☆☆		☆☆
		出願書類(調査書)			○		
		出願書類(自己推薦書)			○		
学校推薦型選抜	面接	☆☆		☆☆		☆☆	
	小論文	☆☆	☆	☆☆☆			
	出願書類(推薦書)			○			
	出願書類(調査書)			○			
私費外国人留学生選抜	英語外部試験	☆☆☆					
	日本留学試験	☆☆☆		☆☆			
	面接	☆☆			☆☆	☆☆☆	
	出願書類(成績証明書等)			○			

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆~☆☆☆は、点数・段階評価するもの

農学部 環境システム科学科

アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

持続的かつ合理的な流域圏の基盤をデザインするための知識や技術を身につけ、農学分野の課題解決や発展に貢献することのできる行動的知性を備えた人材（技術者）を養成します。2年生後期から、①農業環境工学プログラム、②森林科学プログラムのいずれかに分属し、学科共通の専門領域の学修に加え、それぞれの専門領域について学修します。この2プログラムではそれぞれ、①田園空間の総合的デザインや食料生産環境システムの設計・制御に関わる専門技術者、②森林の木材生産と環境保全に関わる専門技術者の育成が図られます。なお、両プログラムはJABEE（日本技術者教育認定機構）による技術者教育プログラムとしての認定を受けており（予定）、卒業と同時に修習技術者となり、技術士補の国家資格を得ることができます。

「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	<p>学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。</p>	<p>高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的な好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。</p>
専門教育科目	<p>学部共通科目として、農学リテラシー科目、自然科学基礎科目、『研究への扉』の科目群を学びます。持続的な流域圏の基盤のデザインを担う技術者を育成するために、以下の専門科目群を設置します。</p> <p>基礎科目群：環境システム科学に関する基礎理論を修得する。 環境基盤系科目群：流域圏の基盤のデザインに関わる基礎知識を修得する。 環境計測系科目群：空間デザインのための技術を修得する。 融合・応用科目群：社会的要求の変化に応じた合理的かつ柔軟な対応を学ぶ。 農業環境工学技術系・森林科学技術系科目群：専攻分野の技術者として社会に貢献するための専門知識・技術を修得する。</p>	<p>自然科学の基礎理論と持続的かつ合理的な流域圏のデザインを理解し、環境問題の解決やデジタル技術の活用に貢献する意欲を持っていることが望まれます。持続可能な流域圏の生産基盤をデザインについて幅広い視点から理解するため、高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけていることが必要です。また、身近な地域の課題や地球規模の問題などに対して、学んだ知識に基づき、道筋をたてて様々な側面から考察することができる基礎的な課題解決力を必要とします。さらに、他者と協働するためのコミュニケーション能力が不可欠です。</p>

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

本学科では豊かな流域環境の創出・管理・評価、スマート農林業などを活用した持続的な食料・木材生産、気候変動へのしなやかな対応などに関する学識を身につけ、社会の幅広い分野で活躍できる技術者を育成することを目指しています。高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけてください。また、教科学習を通して、知識を組み合わせる道筋をたて、色々な面から考察することのできる力を身につけてください。学校等における学びやクラブ活動等の場において、積極的に他の人とコミュニケーションをとり、協働することを心がけてください。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

- (1) 求める学生像
- ①高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎的な知識を備えている人
 - ②環境システム科学の基礎となる理科(生物)あるいは数学及び英語などについての基礎的な知識と学力を備えている人
 - ③様々なデータを読み取り、思考し、判断する力を備えている人
 - ④環境システム科学における諸問題の解決策を他者と共有するための表現力を備えている人
 - ⑤環境システム科学関連分野への関心と問題意識を持ち、解決に向けて主体的に考え、行動を起こす意欲と能力を備えている人
 - ⑥農学分野の現場で多様な人達と協働するためのコミュニケーション能力を備えている人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では理科(生物)又は数学、及び英語についての知識や思考力を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書)を使用します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは、「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では面接により、思考力、表現力、学修への主体性、コミュニケーション能力等の資質を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書)を使用します。
総合型選抜A (一般)	出願書類、面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション(以下、GDと略す)、GDのレポートを総合して選抜を行います。本学科で学ぶ適性を見るために、面接では意欲、主体性、コミュニケーション能力、思考力、表現力を、論述試験では思考力、表現力、環境システム科学で必要とされる基礎学力を、GDでは主体性、判断力、協働力、コミュニケーション能力を、レポートでは思考力、判断力を中心に評価します。また、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書等)を使用します。
総合型選抜A (特別) 未来デザイン型入試	出願書類、プレゼンテーション及び質疑応答を含む面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション(以下、GDと略す)、GDのレポートを総合して選抜を行います。上記の総合型選抜A(一般)の内容に加えて、グローバルサイエンスキャンパスなどにおける探究活動のプレゼンテーション(5分)及び質疑応答では、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体性について評価します。また、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書等)を使用します。
学校推薦型選抜	出願書類、面接、小論文を総合して選抜を行います。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、基礎知識、思考力、表現力などを評価します。小論文では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書)を使用します。
私費外国人留学生選抜	英語外部試験、日本留学試験及び面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験、日本留学試験では、入学後の学びの基盤となる語学力、基礎学力、思考力、判断力を評価します。面接では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、基礎学力、表現力、主体性及び学修意欲を評価します。また、学びの取り組みを確認するために出願書類(成績証明書等)を使用します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆			
		個別学力検査	☆☆☆	☆☆	☆		
		出願書類(調査書)			○		
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆			
		面接			☆☆		☆☆☆
		出願書類(調査書)			○		
総合型選抜	A(一般)	論述試験	☆☆	☆☆			
		面接			☆☆		☆☆
		GD・レポート	☆		☆☆		☆
		出願書類(調査書)			○		
		出願書類(自己推薦書)			○		
	A(特別)	論述試験	☆☆		☆☆		
		面接			☆☆		☆☆
		GD・レポート	☆		☆☆		☆
		プレゼンテーション・質疑応答	☆☆		☆☆☆		☆☆
		出願書類(調査書)			○		
学校推薦型選抜	面接	小論文	☆☆	☆	☆☆☆		☆☆☆
		出願書類(推薦書)			○		
	出願書類(調査書)				○		
						○	
私費外国人留学生選抜	英語外部試験	☆☆☆					
	日本留学試験	☆☆☆		☆☆			
	面接	☆☆			☆☆		☆☆☆
	出願書類(成績証明書等)				○		

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの
(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

農学部 エコロジカル社会経済学科

アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

食料やその生産基盤となる農林業に関する問題について、経済学や社会学など社会科学の領域から研究・教育を行います。農業生産や環境負荷、消費者ニーズ、循環社会、政策など幅広い専門知識や理論を理解し、誰一人取り残されることなく、十分な食料を確保し続けられる持続可能なエコロジカル社会に貢献することのできる行動的知性を備えた人材を育成します。

「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	<p>学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者との対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。</p>	<p>高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。</p>
専門教育科目	<p>学部共通科目として、農学リテラシー科目、自然科学基礎科目、『研究への扉』の科目群を学びます。食、農林業、環境及び経済を分析し、持続可能な社会の構築を担う人材を育成するために、以下の専門教育科目群を設置します。 基礎科目群：社会科学の基礎を修得する。 応用科目群：農学の対象を分析する力を修得する。 演習系科目群：課題発見や解決に資する論理的思考力・判断力や情報収集・分析力を磨く。社会・地域で適切な解決策を見出し、実践できる行動力を身につける。</p>	<p>食料やその生産基盤となる農林業に関する諸問題の解決に貢献する意欲を持っていることが望まれます。環境と社会と経済の持続可能性について幅広い視点から理解するため、高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけていることが必要です。また、身近な地域の課題や地球規模の問題などに対して、学んだ知識に基づき、道筋をたてて様々な側面から考察することができる基礎的な課題解決力を必要とします。さらに、他者と協働するためのコミュニケーション能力が不可欠です。</p>

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけてください。また、教科学習を通して、知識を組み合わせる筋道をたて、色々な面から考察することのできる力を身につけてください。学校等における学びやクラブ活動等の場において、積極的に他の人とコミュニケーションをとり、協働することを心がけてください。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

- (1) 求める学生像
- ①高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎的な知識を備えている人
 - ②様々なデータを読み取り、思考し、判断する力を備えている人
 - ③エコロジカル社会経済学における諸問題の解決策を他者と共有するための表現力を備えている人
 - ④常に問題意識を持ち、解決に向けて主体的に考え、行動を起こす意欲と能力を備えている人
 - ⑤農学分野の現場で多様な人達と協働するためのコミュニケーション能力を備えている人
 - ⑥エコロジカル社会経済学関連分野への関心を持ち、本分野の発展に貢献する意欲を持っている人
- 入学時に必要な能力や適性等

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「文系型」あるいは「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では小論文あるいは数学、及び英語により基礎的な知識や思考力を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書)を使用します。
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト及び個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「文系型」あるいは「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では面接により、思考力、表現力、学修への主体性、コミュニケーション能力等の資質を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書)を使用します。
総合型選抜 A (一般)	出願書類、面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション(以下、GDと略す)、GDのレポートを総合して選抜を行います。本学科で学ぶ適性を見るために、面接では意欲、主体性、コミュニケーション能力、思考力、表現力を、論述試験では思考力、表現力、エコロジカル社会経済学で必要とされる基礎学力を、GDでは主体性、判断力、協働力、コミュニケーション能力を、レポートでは思考力、判断力、学びの基礎となる基礎的な知識を中心に評価します。また、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書等)を使用します。
総合型選抜 A (特別) 未来デザイン型入試	出願書類、プレゼンテーション及び質疑応答を含む面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション(以下、GDと略す)、GDのレポートを総合して選抜を行います。上記の総合型選抜A(一般)の内容に加えて、グローバルサイエンスキャンパスなどにおける探究活動のプレゼンテーション(5分)及び質疑応答では、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体性について評価します。また、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書等)を使用します。
学校推薦型選抜	出願書類、面接、小論文を総合して選抜を行います。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、基礎的な知識、思考力、表現力などを評価します。小論文では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類(調査書)を使用します。
私費外国人留学生選抜	英語外部試験、日本留学試験、小論文及び面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験、日本留学試験では、入学後の学びの基盤となる語学力、基礎学力、思考力、判断力を評価します。面接では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、基礎学力、表現力、主体性及び学修意欲を評価します。また、学びの取り組みを確認するために出願書類(成績証明書等)を使用します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥
「学力の3要素」との対応		知識・技能	思考力・判断力・表現力			主体性等	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆			
		個別学力検査	☆☆☆	☆☆			
		出願書類(調査書)				○	
	後期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆	☆☆			
		面接		☆☆			☆☆☆
		出願書類(調査書)				○	
総合型選抜	A(一般)	論述試験	☆☆	☆☆			
		面接		☆☆			☆☆
		GD・レポート	☆	☆☆			☆
		出願書類(調査書)				○	
		出願書類(自己推薦書)				○	
	A(特別)	論述試験	☆☆	☆☆			
		面接		☆☆			☆☆
		GD・レポート	☆	☆☆			☆
		プレゼンテーション・質疑応答	☆☆	☆☆☆			☆☆
		出願書類(調査書)				○	
学校推薦型選抜	面接	☆☆	☆☆			☆☆	
	小論文	☆☆	☆☆☆				
	出願書類(推薦書)				○		
	出願書類(調査書)				○		
私費外国人留学生選抜	英語外部試験	☆☆☆					
	日本留学試験	☆☆☆	☆☆				
	小論文	☆☆	☆☆☆				
	面接	☆☆	☆☆			☆☆☆	
	出願書類(成績証明書等)				○		

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否・適・不適等により評価するもの
(ii) ☆~☆☆☆は、点数・段階評価するもの

Ⅲ 入学者選抜

1 入学者選抜の種類

令和9年度の入学者選抜では、一般選抜〔前期日程及び後期日程〕、総合型選抜〔A（一般）・（特別）、B（帰国生）、C（社会人）、D（外国人生徒）〕、学校推薦型選抜及び私費外国人留学生選抜を行います。

2 募集人員（総表）

（単位：人）

学部	学科等	計	一般選抜		総合型選抜					学校推薦型選抜	私費外国人留学生選抜	
			前期日程	後期日程	A		B (帰国生)	C (社会人)	D (外国人生徒)			
					(一般)	(特別)						
データサイエンス経営学部	データサイエンス経営学科	55	40	8	7							
	合計	55	40	8	7							
地域デザイン科学部	コミュニティデザイン学科	47	33	7	7						若干名	
	建築都市デザイン学科	47	37	7	3							
	社会基盤デザイン学科	37	25	7	5							
	合計	131	95	21	15						—	
国際学部	国際学科	84	38				2	若干名	3	36	5	
	合計	84	38	*1			2	—	3	36	5	
共同教育学部	学校教育教員養成課程	教育人間科学系	教育	21		3				20		
			教育心理			2						
			特別支援教育			5						
		人文社会系	国語	35		2						
			社会			2						
			英語			2						
		自然科学系	数学	30		5						
			理科学			5						
			技術			3						
		芸術・生活・健康系	音楽	25		3						
			美術			2						
			保健体育			3						
			家政			2						
合計	170	111	*1	39					20			
工学部	基盤工学系	化学系	50	20	8	若干名				10	若干名	
		機械・情報電子系	167		5	若干名				30		
		合計	290		217	20	13	—			40	—
農学部	フロンティア食品科学科	37	22	3	3	若干名				9	若干名	
	生物生産イノベーション科学科	56	34	6	5	若干名				11		
	環境システム科学科	51	30	5	6	若干名				10		
	エコソシアル社会経済学科	36	20	4	5	若干名				7		
	合計	180	106	18	19	—				37	—	
総計		910	607	67	93	—	2	—	3	133	5	

*1 国際学部及び共同教育学部は、後期日程を実施しません。

（注）総合型選抜〔A（一般）、B（帰国生）、D（外国人生徒）〕、学校推薦型選抜及び私費外国人留学生選抜（国際学部のみ）の入学手続者が募集人員に満たない場合は、当該不足人員を当該学科・系等の前期日程の募集人員に加えます。

3 入学者選抜方法等

○印は該当することを、×印は該当しないことを示します。

募集人員に欠員が生じた場合は、3月28日以降合格者を追加します。なお欠員が充足されなかった場合は、欠員補充第2次募集を行うことがあります。

(1) データサイエンス経営学部

選抜方法等 日程・学科	一般選抜							その他
	個別学力検査等							
	実技検査等			2段階選抜				
	個別学力検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	口述試験を行う	論述試験を課する	更に必要な検査等を行う	
前期日程 データサイエンス経営学科	○	×	×	×	×	×	×	×
後期日程 データサイエンス経営学科	×	×	○	×	×	×	×	

選抜方法等 学科	総合型選抜				学校推薦型選抜				私費外国人留学生選抜	
	A	B	C	D	学	学	実	技		
	(一)	(特)	(帰)	(社)	学	学	実	技		
	般	別	生	人	共	学	技	接		
データサイエンス経営学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×

(2) 地域デザイン科学部

選抜方法等 日程・学科	一般選抜							その他
	個別学力検査等							
	実技検査等			2段階選抜				
	個別学力検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	口述試験を行う	論述試験を課する	更に必要な検査等を行う	
前期日程 コミュニティデザイン学科	×	×	×	○	×	×	×	×
後期日程 建築都市デザイン学科	○	×	×	×	×	×	×	
前期日程 社会基盤デザイン学科	○	×	×	×	×	×	×	×
後期日程 コミュニティデザイン学科	×	×	○	×	×	×	×	
後期日程 建築都市デザイン学科	×	×	○	×	×	×	×	×
後期日程 社会基盤デザイン学科	×	×	○	×	×	×	×	

選抜方法等 学科	総合型選抜				学校推薦型選抜				私費外国人留学生選抜	
	A	B	C	D	学	学	実	技		
	(一)	(特)	(帰)	(社)	学	学	実	技		
	般	別	生	人	共	学	技	接		
コミュニティデザイン学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○
建築都市デザイン学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○
社会基盤デザイン学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○

(3) 国際学部

選抜方法等 日程・学科	一般選抜							その他
	個別学力検査等							
	実技検査等			2段階選抜				
	個別学力検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	口述試験を行う	論述試験を課する	更に必要な検査等を行う	
前期日程 国際学科	○	×	×	○	×	×	×	×

選抜方法等 学科	総合型選抜				学校推薦型選抜				私費外国人留学生選抜	
	A	B	C	D	学	学	実	技		
	(一)	(特)	(帰)	(社)	学	学	実	技		
	般	別	生	人	共	学	技	接		
国際学科	×	×	○	○	○	○	×	×	○	×

(4) 共同教育学部

選抜方法等		一般選抜							日程・系・分野	選抜方法等		総合型選抜				学校推薦型選抜				私費外国人留学生選抜			
		個別学力検査等										A (一般)	B (特別)	C (帰国生)	D (社会人)	学共 通テ スト を免 除す る	学入 学共 通テ スト を免 除す る	個別 学力 検査 を課 す	実技 検査 を課 す		面接 を行 う	小論 文を 課す る	基礎 能力 試験
		個別 学力 検査 を課 す	実技 検査 を課 す	面接 を行 う	小論 文を 課す る	外国 語に おけ るリス ニ ング テス トを 課す る	口述 試験 を行 う	論述 試験 を課 す															
前期 日程	学校教育 人間系 教育心理 特別支援 教育	○	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×	×		
		国語	○	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×	×	
	文系	国語	○	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×	×		
	社会	英語	○	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×	×		
	英	数学	○	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×	×		
	数	理科	○	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×	×		
	理	技術	○	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×	×		
	技	音楽	○	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×	×		
	音	美術	○	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×	×		
	美	保健 体育	○	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×	×		
芸 生 健	家 政	○	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×	×			

(5) 工学部

選抜方法等		一般選抜							日程・学科・系	選抜方法等		総合型選抜				学校推薦型選抜				私費外国人留学生選抜			
		個別学力検査等										A (一般)	B (特別)	C (帰国生)	D (社会人)	学共 通テ スト を免 除す る	学入 学共 通テ スト を免 除す る	個別 学力 検査 を課 す	実技 検査 を課 す		面接 を行 う	小論 文を 課す る	基礎 能力 試験
		個別 学力 検査 を課 す	実技 検査 を課 す	面接 を行 う	小論 文を 課す る	外国 語に おけ るリス ニ ング テス トを 課す る	口述 試験 を行 う	論述 試験 を課 す															
前期 日程	基盤 工学 系	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×	○			
		機械・情報 電子系	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×	○		
後期 日程	基盤 工学 系	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×	○			

(6) 農学部

選抜方法等		一般選抜							日程・学科	選抜方法等		総合型選抜				学校推薦型選抜				私費外国人留学生選抜			
		個別学力検査等										A (一般)	B (特別)	C (帰国生)	D (社会人)	学共 通テ スト を免 除す る	学入 学共 通テ スト を免 除す る	個別 学力 検査 を課 す	実技 検査 を課 す		面接 を行 う	小論 文を 課す る	基礎 能力 試験
		個別 学力 検査 を課 す	実技 検査 を課 す	面接 を行 う	小論 文を 課す る	外国 語に おけ るリス ニ ング テス トを 課す る	口述 試験 を行 う	論述 試験 を課 す															
前期 日程	フロンティア 食品科学 科	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×	○			
		生物生産 イバ ーシ ョン 科学 科	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×	○		
		環境シ ステ ム科 学 科	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×	○		
		エコロ ジカ ル社 会経 済学 科	○	×	×	※	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×	○		
後期 日程	フロンティア 食品科学 科	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×	○			
		生物生産 イバ ーシ ョン 科学 科	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×	○			
		環境シ ステ ム科 学 科	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×	○			
		エコロ ジカ ル社 会経 済学 科	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×	○			

※エコロジカル社会経済学科前期日程における小論文については選択者のみ該当

IV 一般選抜

1 出願資格

次の要件のいずれかに該当し、かつ令和9年度大学入学共通テストのうち本学が指定する教科・科目を受験している者

- (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者

※【学校教育法施行規則第150条7号】に掲げられている「大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者」に該当するものとして、宇都宮大学の認定を必要とする受験者は、本学ホームページの以下のページを参照してください。

<https://www.utsunomiya-u.ac.jp/admission/qualification.php>

2 出願期間（前期日程、後期日程）

令和9年1月25日(月)～2月3日(水)

3 出願上の留意事項

- (1) データサイエンス経営学部に出願する者に対する留意事項
一般選抜前期日程については、文系型、理系型の2種類の受験方式を設けます。出願時にいずれかの受験方式を選択してください。
- (2) 共同教育学部に出願する者に対する留意事項
共同教育学部学校教育教員養成課程は、教育人間科学系、人文社会系、自然科学系、芸術・生活・健康系の4つの系に分けて入学試験を行います。

		系	分野	出願に際しての留意事項	
共同教育学部	学校教育教員養成課程	教育人間科学系	教 育	左記のいずれかの系における分野のうちから志望順位をつけて、最大3つまで選択してください。(第2志望以下を選択しないことも可能です。)	
			教 育 心 理		
			特別支援教育		
		人文社会系	国 語		
			社 会		
			英 語		
		自然科学系	数 学		
			理 科		
			技 術		
		芸術・生活・健康系	音 楽		左記の分野のうちから、1つだけ選択してください。
			美 術		
			保 健 体 育		
家 政					

(注1) 志望の記入がない分野については、その分野への入学意思がないものとして取り扱います。

(注2) 各系内での分野振分けは、入学試験の成績と志望順位を考慮して、合格者発表時に行います。

- (3) 工学部に出願する者に対する留意事項

一般選抜前期日程については、化学系と機械・情報電子系の2つの系に分けて入学者選抜を行います。

化学系に合格し入学した者は、2年次より応用化学コースに配属されます。機械・情報電子系に合格し入学した者は、本人の希望と1年次の成績により機械システム工学コース又は情報電子オプティクスコースに配属されます。また、本人の希望と1年次の成績に基づき、各系の若干名に対して、2年次から配属されるコースの変更を認めています。

一般選抜後期日程については、基盤工学科全体で入学者選抜を行います（系ごとの入学者選抜は行いません）。

4 主体性評価について

一般選抜における、主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学ぶ態度の評価（いわゆる、「主体性評価」）は、主として調査書若しくは面接により行います。

5 教科・科目名の表記

- ① 大学入学共通テストの出題教科・科目名は、次のように示しています。
 - 国語→国
『国語』→「国」
 - 地理歴史→地歴
『地理総合、地理探究』→「地地」、『歴史総合、日本史探究』→「歴日」、
『歴史総合、世界史探究』→「歴世」、『地理総合／歴史総合／公共』→「地歴公」
 - 公民→公民
『公共、倫理』→「公倫」、『公共、政治・経済』→「公政」、
『地理総合／歴史総合／公共』→「地歴公」
 - 数学→数
『数学Ⅰ、数学A』→「数ⅠA」、『数学Ⅰ』→「数Ⅰ」、
『数学Ⅱ、数学B、数学C』→「数ⅡBC」
 - 理科→理
『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』→「基礎」、
『物理』→「物」、『化学』→「化」、『生物』→「生」、『地学』→「地学」
 - 外国語→外
『英語』→「英」、『ドイツ語』→「独」、『フランス語』→「仏」、『中国語』→「中」、
『韓国語』→「韓」
 - 情報→情
『情報Ⅰ』→「情」
- ② 個別学力検査等の出題教科・科目名は、上記①と同様に示します。
[例] 「数学Ⅱ」→数Ⅱ、「数学Ⅲ」→数Ⅲ、
「数学A」→数A、「数学B」→数B、「数学C」→数C

6 大学入学共通テスト「地歴」及び「公民」における科目選択の制限について

- ① 大学入学共通テストの「地歴」及び「公民」において、「地歴公」を選択する場合は、3つの出題範囲（地理総合、歴史総合、公共）のうち2つを選択解答してください。
- ② 大学入学共通テストの「地歴」及び「公民」において、2科目を選択する場合は、以下の組合せを選択することはできません。
 - ・「公倫」と「公政」
 - ・「地歴公」を選択する場合、「地歴公」で選択解答するものと同一名称を含む科目
(参考) 「地歴公」を選択する場合における選択可能な組合せ ○：選択可 ×：選択不可

	『地理総合／歴史総合／公共』		
	『地理総合』 『歴史総合』	『地理総合』 『公共』	『歴史総合』 『公共』
地地	×	×	○
歴日	×	○	×
歴世	×	○	×
公倫	○	×	×
公政	○	×	×

7 大学入学共通テスト「理科」における科目選択の制限について

- ① 大学入学共通テストの「理科」において、「基礎」を選択する場合は、4つの出題範囲（物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎）のうち2つを選択解答してください。
- ② 大学入学共通テストの「理科」において、2科目を選択する場合は、以下の組合せを選択することはできません。
- ・「基礎」を選択する場合、「基礎」で選択解答するものと同一名称を含む科目
 (参考) 「基礎」を選択する場合における選択可能な組合せ ○：選択可 ×：選択不可

	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』					
	「物理基礎」 「化学基礎」	「物理基礎」 「生物基礎」	「物理基礎」 「地学基礎」	「化学基礎」 「生物基礎」	「化学基礎」 「地学基礎」	「生物基礎」 「地学基礎」
物理	×	×	×	○	○	○
化学	×	○	○	×	×	○
生物	○	×	○	×	○	×
地学	○	○	×	○	×	×

学部・学科等 及び入学定員等	学力検査等の 区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等								
		教科	科目名	科目名等	検査等 の内容	試験の区分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	情報	実技	面接	小論文	配点 合計
国際学部 前期 38	前期 2月25日	国 地歴 公民	「国」 「地」 「公」 「歴」 「世」 「公」	「国」 「地」 「公」 「歴」 「世」 「公」	英 小論文	英「英語コミュニケーション」・Ⅱ・Ⅲ、論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（リスニングを含まない） 小論文 国際的な社会的文化的事象に取り組んでいくための基本的な理解力・思考力・表現力及び幅広い勉強や活動、経験から得られた知見・関心・問題意識などを問う。 〔評価の観点〕 文章を理解する能力、問題点を把握する能力、様々な知学・活動・経験から得た知識を生かして独自の考えをまとめる能力、論理的に考え、文章を構成する能力、日本語の表現・表記の能力を評価する。	大学入学 共通テスト	200	300	200	100	100				1100
国際学部 前期 38	前期 2月25日	教 理 外 情	「教」 「理」 「外」 「情」	「教」 「理」 「外」 「情」	その他 小論文	同上	個別学力検査等			400					400	800
							計	200	300	200	100	100			400	1900
							計	200	300	200	100	100			400	1900

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄
 ① 「英」は、リスニングを含みます。
 ② 「理科」において、2科目受験しているときは、第1解答科目を利用します。
 ③ 「数学」において、2科目受験しているときは、高得点の科目を利用します。
 ④ 「地歴、公民」については、28ページの「6 大学入学共通テスト「地歴」及び「公民」における科目選択の制限について」を参照の上選択してください。
 また、理科については、29ページの「7 大学入学共通テスト「理科」における科目選択の制限について」を参照の上選択してください。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点】欄
 ① 大学入学共通テストにおける「英語」のリーディング（筆記試験）は1.5倍（150点満点）に、リスニングは0.5倍（50点満点）にそれぞれ換算します。なお、リスニングを免除された場合は、リーディング（筆記試験）を2倍（200点満点）に換算します。
 また、「英語」以外の外国語の場合は、筆記試験をそのまま利用します。
 ② 地歴、公民については、選択した2科目のうち得点の高い科目を2倍（200点満点）に換算し、他の1科目と併せて配点を300点とします。
 ③ 数学及び理科については、いずれかが得点の高い教科を2倍（200点満点）に換算し、他方の教科と併せて配点を300点とします。

【大学入学共通テストに関する留意事項】欄
 大学の指定した大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を1つでも受験していない場合は、失格となりますので、十分確認の上出願してください。
 【個別学力検査に関する留意事項】欄
 指定された教科・科目を1つでも受験しなかった場合は、失格となりますので十分注意してください。

学部・入学		学科等		学力検査等の区分・日程		大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等				大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等				配点合計		
						教科	科目名	科目名	教科等	科目名	検査等	内容	試験の区分	国語	地歴公民	数学			理科
共同教育学部 前期111	教育人間科学系 教育心理 特別支援教育 前期 21	前期 2月25日	国 地歴 公民 教 理 外 情	【国】 【地】 【公】 【歴】 【世】 【政】 【教】 【基】 【物】 【英】 【情】	【国】 【地】 【公】 【歴】 【世】 【政】 【教】 【基】 【物】 【英】 【情】	【6教科7科目又は7教科7科目】	その他	小論文 面接	小論文 面接	教育人間科学系で学ぶ上で必要な基礎的知識、思考力、判断力及び表現力を総合的に評価する。 面接は集団面接とし、複数の面接員により一人あたり5分程度実施する。思考力、協調性など、学校教育への関心と意欲、思考力、協調性など、学校教員になるための資質・能力を総合的に評価する。	大学入学 共通テスト 個別学力検査等 計	200 200 100 100 200	100 100 100 100	200 200 200 200	100 100 100 100	100 100 100 100	100 100 100 100	300 300 300 300	900 400 1300
教育学部 前期 30	自然科学系 数学 理科 技術 前期 30	前期 2月25日	国 地歴 公民 教 理 外 情	【国】 【地】 【公】 【歴】 【世】 【政】 【教】 【基】 【物】 【英】 【情】	【国】 【地】 【公】 【歴】 【世】 【政】 【教】 【基】 【物】 【英】 【情】	【6教科7科目又は7教科7科目】	その他	小論文 面接	小論文 面接	自然科学系で学ぶ上で必要な基礎的知識、思考力、判断力及び表現力を総合的に評価する。 面接は集団面接とし、複数の面接員により一人あたり5分程度実施する。思考力、協調性など、学校教育への関心と意欲、思考力、協調性など、学校教員になるための資質・能力を総合的に評価する。	大学入学 共通テスト 個別学力検査等 計	200 200 100 100 200	100 100 100 100	200 200 200 200	100 100 100 100	100 100 100 100	100 100 100 100	300 300 300 300	1000 400 1400
共同教育学部 前期111	教育人間科学系 教育心理 特別支援教育 前期 21	前期 2月25日	国 地歴 公民 教 理 外 情	【国】 【地】 【公】 【歴】 【世】 【政】 【教】 【基】 【物】 【英】 【情】	【国】 【地】 【公】 【歴】 【世】 【政】 【教】 【基】 【物】 【英】 【情】	【6教科7科目又は7教科7科目】	その他	小論文 面接	小論文 面接	教育人間科学系で学ぶ上で必要な基礎的知識、思考力、判断力及び表現力を総合的に評価する。 面接は集団面接とし、複数の面接員により一人あたり5分程度実施する。思考力、協調性など、学校教育への関心と意欲、思考力、協調性など、学校教員になるための資質・能力を総合的に評価する。	大学入学 共通テスト 個別学力検査等 計	200 200 100 100 200	100 100 100 100	200 200 200 200	100 100 100 100	100 100 100 100	100 100 100 100	300 300 300 300	900 400 1300

() の配点は、選択科目を表します。

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄
① 「英」は、リスニングを含みます。
② 地歴、公民及び理科において、1科目を利用する場合は2科目受験しているときは、第1解答科目を利用します。
③ 数学において、1科目を利用する場合は2科目受験しているときは、高得点の科目を利用します。
④ 地歴、公民については、28ページの「6 大学入学共通テスト「地歴」及び「公民」における科目選択の制限について」を参照の上選択してください。
また、理科については、29ページの「7 大学入学共通テスト「理科」における科目選択の制限について」を参照の上選択してください。

【個別学力検査等】欄
芸術・生活・健康系の「実技」科目については、36ページ「共同教育学部実技検査の内容」を参照の上、選択してください。

指定された教科・科目を1つでも受験しなかった場合は、失格となりますので十分注意してください。

学部・学科等名及び入学定員等	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名等			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										
		教科	科目名等	教科等	科目名等	理料	内容	試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	情報	実技	面接	小論文	配点合計
農学部 前期 106 後期 18	前期 2月25日	国語 地歴公民 数	【国】 【地】、【歴】、【歴世】、 【公】、【政】、【地歴公】から1 【数】、【化】、【教】から1	理 外	化基・化 生基・生 英	から1	理科 外国語 英「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ（リスニングを含まない）」	大学入試 共通テスト 個別学力検査等	200	100	200	200	200	100				1000
	後期 3月12日		【国】 【地】、【歴】、【歴世】、 【公】、【政】、【地歴公】から1 【数】、【化】、【教】から1	その他	面接		面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分実施する。本学科への適性、動学に対する意欲、質疑応答におけるコミュニケーション能力等の質を評価する。	大学入試 共通テスト 個別学力検査等	200	100	200	200	200	100		200		1500
生物生産 イノベーション 科学科 前期 34 後期 6	前期 2月25日	国語 地歴公民 数	【国】 【地】、【歴】、【歴世】、 【公】、【政】、【地歴公】から1 【数】、【化】、【教】から1	理 外	化基・化 生基・生 英	から1	理科 外国語 英「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ（リスニングを含まない）」	大学入試 共通テスト 個別学力検査等	200	100	200	200	200	100				1000
	後期 3月12日		【国】 【地】、【歴】、【歴世】、 【公】、【政】、【地歴公】から1 【数】、【化】、【教】から1	その他	面接		面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分実施する。本学科への適性、動学に対する意欲、質疑応答におけるコミュニケーション能力等の質を評価する。	大学入試 共通テスト 個別学力検査等	200	100	200	200	200	100		200		1500
環境システム 科学科 前期 30 後期 5	前期 2月25日	国語 地歴公民 数	【国】 【地】、【歴】、【歴世】、 【公】、【政】、【地歴公】から1 【数】、【化】、【教】から1	教 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ 生基・生	から1	数学 理科 外国語 英「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ（リスニングを含まない）」	大学入試 共通テスト 個別学力検査等	200	100	200	200	200	100				1000
	後期 3月12日		【国】 【地】、【歴】、【歴世】、 【公】、【政】、【地歴公】から1 【数】、【化】、【教】から1	その他	面接		面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分実施する。本学科への適性、動学に対する意欲、質疑応答におけるコミュニケーション能力等の質を評価する。	大学入試 共通テスト 個別学力検査等	200	100	200	200	200	100		200		1500
エロエロカル 社会経済科学科 前期 20 後期 4	前期 2月25日	国語 地歴公民 数	【国】 【地】、【歴】、【歴世】、 【公】、【政】、【地歴公】から1 【数】、【化】、【教】から1	教 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ 生基・生	から1	数学 理科 外国語 英「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ（リスニングを含まない）」	大学入試 共通テスト 個別学力検査等	200	200	100	200	200	100				1000
	後期 3月12日		【国】 【地】、【歴】、【歴世】、 【公】、【政】、【地歴公】から1 【数】、【化】、【教】から1	その他	面接		面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分実施する。本学科への適性、動学に対する意欲、質疑応答におけるコミュニケーション能力等の質を評価する。	大学入試 共通テスト 個別学力検査等	200	200	100	200	200	100		200		1500

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】 ①「英」は、リスニングを含まず。②「地歴」は、地理・公民2科目と理科1科目（第1解答科目）、「地歴」は、地理・公民2科目と理科2科目とを採択します。③「数」は、数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲから1科目を採択する。④「理」は、物理・化学・生物から1科目を採択する。⑤「外」は、英語・中国語・韓国語・フランス語・ドイツ語・イタリア語・スペイン語から1科目を採択する。⑥「国語」は、国語から1科目を採択する。⑦「面接」は、面接から1科目を採択する。⑧「小論文」は、小論文から1科目を採択する。⑨「配点」は、各科目の配点を示す。⑩「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。⑪「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。⑫「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。⑬「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。⑭「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。⑮「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。⑯「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。⑰「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。⑱「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。⑲「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。⑳「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。㉑「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。㉒「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。㉓「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。㉔「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。㉕「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。㉖「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。㉗「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。㉘「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。㉙「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。㉚「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。㉛「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。㉜「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。㉝「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。㉞「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。㉟「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。㊱「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。㊲「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。㊳「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。㊴「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。㊵「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。㊶「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。㊷「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。㊸「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。㊹「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。㊺「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。㊻「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。㊼「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。㊽「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。㊾「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。㊿「試験の区分」は、大学入試共通テスト・個別学力検査等を示す。

共同教育学部実技検査の内容

選択教科・科目	内 容
音 楽 実 技	<p>次の1、2、3の内容を課します。</p> <p>1 楽 典 楽式論、作曲法、音楽史の内容を含みません。</p> <p>2 声 楽 次の①・②の日本歌曲から任意の1曲を選択し、歌詞の1番を暗譜で演奏してください。(伴奏者は本学で用意します。)</p> <p>① 林 古溪 作詞、成田 為三 作曲《浜辺の歌》(ヘ長調) ② 江間 章子 作詞、中田 喜直 作曲《夏の思い出》(ニ長調)</p> <p>3 ピ ア ノ ピアノ独奏による自由曲(3分以上の楽曲)1曲を暗譜で演奏してください。(反復は省略。)</p> <p>[注] ピアノで演奏する曲の楽譜(コピー可)に本学様式「〈ピアノ〉提出楽譜表紙」(本選抜の学生募集要項に掲載)を添付し、出願時に提出してください。(ただし、提出された楽譜は返却しません。)</p>
美 術 実 技	<p>鉛筆による静物素描 [モチーフ及び試験に使用する画材類は、全て大学で用意します。]</p>
体 育 実 技	<p>基礎的運動能力に関して、下記の3領域(A、B、C)からそれぞれ1種目を選択し、計3種目を検査します。</p> <p>A. 陸上運動領域(50mハードル走、又は走り幅跳び) B. ボール運動領域(バスケットボールのドリブル走、又はハンドボール投げ) C. 器械運動・表現運動領域(複数技を組み合わせたマット運動、又は「スポーツ」を題材としたテーマに基づいた即興表現)</p> <p>【悪天候時】</p> <p>A. 陸上運動領域(体育館内でのハードル走、又は立ち幅跳び及び立ち三段跳び) B. ボール運動領域(バスケットボールのドリブル走、又はメディシンボール投げ) C. 器械運動・表現運動領域(複数技を組み合わせたマット運動、又は「スポーツ」を題材としたテーマに基づいた即興表現)</p> <p>[注] ① 運動に適した服装、屋内用・屋外用シューズ両方を持参してください。ただし、陸上運動領域ではスパイクシューズを使用することはできません。 ② 悪天候時には屋内で実施するため、種目が一部変更になります。 ③ 3領域(A、B、C)の具体的な検査内容は、当日説明します。 ④ ハードル走(悪天候時含む)は、男女それぞれ次の条件で行います。 1台目までの距離：男女とも12m、ハードルの高さ：男子84.0cm、女子76.2cm、インターバル：男子7.5m、女子7.0m</p>

V 総合型選抜

本学の総合型選抜は、「総合型選抜A（一般）・（特別）」、「総合型選抜B（帰国生）」、「総合型選抜C（社会人）」、「総合型選抜D（外国人生徒）」の4つの区分があります。

「総合型選抜B（帰国生）」については49ページ、「総合型選抜C（社会人）」については50ページ、「総合型選抜D（外国人生徒）」については51ページを参照してください。

1 総合型選抜A（一般）・（特別）

総合型選抜A（一般）

本学の総合型選抜A（一般）に出願した者は、一般選抜に出願することも可能です。その場合の本学への出願は、「一般選抜学生募集要項」によります。また、共同教育学部を除いて、学校推薦型選抜に出願することも可能です。その場合の本学への出願は、「学校推薦型選抜学生募集要項」によります。

総合型選抜A（特別）

工学部及び農学部で実施します。

その他の選抜との併願は、原則として総合型選抜A（一般）に準じます。

対象の志願者は本学の同じ学部・学科・系の総合型選抜A（一般）との併願も可能です。

インターネット出願登録時に「総合型選抜A（一般）」、「総合型選抜A（特別）」、「総合型選抜A（一般）及び総合型選抜A（特別）の併願」のいずれか一つを選択して入力してください。

「総合型選抜A（一般）及び総合型選抜A（特別）の併願」を選択した者で、両方とも一定の基準を満たした場合は、総合型選抜A（特別）の合格者とします。

総合型選抜A（一般）・（特別）の合格者は、特別の事情に基づき入学辞退を許可された場合を除き、本学及び他の国公立大学（※独自日程で入学者選抜を行う大学・学部を除く）の一般選抜を受験しても合格者となりません。（※公立大学協会ホームページ（<https://www.kodaikyo.org/>）参照）

（注）総合型選抜A（一般）・（特別）の詳細は、「総合型選抜A（一般）・（特別）学生募集要項」を参照してください。

(1) 募集人員、出願期間、試験日及び合格者発表日

学部	学科等	募集人員（注2）		出願期間	第1次選考 結果発表	第2次選考	試験日	合格者発表日
		A（一般）	A（特別）					
データサイエンス 経営学部	データサイエンス経営学科	7名		9月7日(月) 9月9日(水)	—	—	11月28日(土)	2月10日(水)
地域デザイン 科学部	コミュニティデザイン学科	7名			10月16日(金)	11月28日(土)	—	
	建築都市デザイン学科	3名				11月28日(土)	12月9日(水)	
	社会基盤デザイン学科	5名						
共同教育学部	教育人間 科学系	教 育	3名	9月7日(月) 9月9日(水)	—	—	10月10日(土)	11月1日(日)
		教 育 心 理	2名					
		特別支援教育	5名					
	人文社会系	国 語	2名					
		社 会	2名					
		英 語	2名					
	自然科学系	数 学	5名					
		理 科	5名					
		技 術	3名					
		音 楽	3名					
芸術・生活・ 健康系	美 術	2名						
	保 健 体 育	3名						
	家 政	2名						
工 学 部	基盤工学科 (注1)	化 学 系	8名 若干名		(注3)			
		機械・情報電子系	5名 若干名		(注3)			
農 学 部	フロンティア食品科学科	3名 若干名			(注3)			
	生物生産イノベーション科学科	5名 若干名			(注3)			
	環境システム科学科	6名 若干名			—			
	エコロジカル社会経済学科	5名 若干名			—			

（注1）工学部基盤工学科については、化学系と機械・情報電子系の2つの系に分けて入学者選抜を行います。化学系に合格し入学した者は2年次より応用化学コースに配属されます。機械・情報電子系に合格し入学した者は、本人の希望と1年次成績により機械システム工学コース又は情報電子オプティクスコースに配属されます。

（注2）総合型選抜A（一般）の入学者数が募集人員に満たない場合は、当該不足人員を当該学科・分野等の前期日程の募集人員に加えます。

（注3）令和9年度総合型選抜A（一般）において、工学部基盤工学科の化学系で入学志願者数が募集人員の1.5倍を超えた場合、機械・情報電子系で入学志願者数が募集人員の2倍を超えた場合には、2段階選抜とし、第1次選考（書類選考）及び第2次選考（本試験）を行うことがあります（工学部基盤工学科の総合型選抜A（特別）の受験者〔総合型選抜A（一般）との併願を含む。〕は対象となりません。）。農学部生物生産イノベーション科学科で入学志願者数が募集人員の2倍を超えた場合、農学部フロンティア食品科学科で入学志願者数が募集人員の3倍を超えた場合には、2段階選抜とし、第1次選考（書類選考）を行うことがあります。その場合、9月29日（火）に第1次選考結果を発表します。

(2) 出願資格

次の(ア)及び(イ)に該当し、(ウ)の志望学部・学科等の要件の全てを満たす者としてします。

(ア) 次の要件のいずれかに該当する者

[データサイエンス経営学部]

- ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を卒業又は令和9年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和8年度中に高等学校若しくは中等教育学校を卒業見込みの者
- ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等又は相当する課程を有するとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了又は令和8年度中に修了見込みの者
- ③ 高等専門学校の第3学年を修了又は令和9年3月修了見込みの者

[地域デザイン科学部・共同教育学部・工学部・農学部]

- ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を令和9年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和8年度中に高等学校若しくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者
- ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等又は相当する課程を有するとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和8年度中に修了又は修了見込みの者
- ③ 高等専門学校の第3学年を令和9年3月修了見込みの者

(イ) 合格した場合は本学に入学することを確約し、入学後、意欲的に勉学に励む者

(ウ) 各学部・学科・系・分野の要件（下表）

総合型選抜A（一般）

学 部	学 科 等	要 件	
データサイエンス経営学部	データサイエンス経営学科	① 大学入学共通テストで本学が指定する教科・科目を受験する者（注1） ② 調査書の学習成績概評がB以上の者（注2）	
地域デザイン科学部	コミュニティデザイン学科	① 大学入学共通テストで本学が指定する教科・科目を受験する者（注1） ② 調査書の学習成績概評がB以上の者	
	建築都市デザイン学科	調査書の学習成績概評がB以上の者	
	社会基盤デザイン学科	調査書の学習成績概評がB以上の者	
共同教育学部 (注3)	教育人間科学系	教 育	調査書の学習成績概評がB以上の者
		教 育 心 理	調査書の学習成績概評がB以上の者
		特別支援教育	調査書の学習成績概評がB以上の者
	人文社会系	国 語	調査書の学習成績概評がB以上の者
		社 会	調査書の学習成績概評がB以上の者
		英 語	調査書の学習成績概評がB以上の者
	自然科学系	数 学	調査書の学習成績概評がB以上で、数学の学習成績の状況が4.3以上の者
		理 科	調査書の学習成績概評がB以上の者
		技 術	調査書の学習成績概評がB以上の者
	芸術・生活・健康系	音 楽	調査書の学習成績概評がB以上の者
		美 術	調査書の学習成績概評がB以上の者
		保 健 体 育	調査書の学習成績概評がB以上の者
		家 政	調査書の学習成績概評がB以上の者
	工 学 部	基盤工学科	化 学 系
機 械・情 報			① 数学Ⅲ及び物理を履修（見込みを含む）している者
電 子 系			② 調査書の学習成績概評がB以上の者

学部	学科等	要件
農学部	フロンティア食品科学科	調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者
	生物生産イノベーション科学科	調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者
	環境システム科学科	調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者
	エコロジカル社会経済学科	—

(注1) 大学入試センターからの成績提供により本学が指定する教科・科目を受験していないことが判明した場合は、失格となり、合否の対象となりません。(大学入学共通テストを課す学部・学科のみ)

(注2) 卒業(修了)後の規定年数経過等により、出身高等学校等から調査書の発行を受けられない者は、当該高等学校等が発行した「調査書発行不可証明書」及び卒業(修了)証明書を提出してください。

(注3) 総合型選抜A(一般)において共同教育学部に出願した者は、本学の学校推薦型選抜では共同教育学部に出願することはできません。

総合型選抜A(特別)

学部	学科等	要件
工学部	基盤工学科	化学系 高校生等を対象とした本学iP-U*を含むGSC事業**及びそれらの後継事業、あるいは次世代科学技術チャレンジプログラム事業の第一段階修了者
		機械・情報電子系 ① 数学Ⅲ及び物理を履修(見込みを含む)している者 ② 調査書の学習成績概評がB以上の者 ③ 高校生等を対象とした本学iP-U*を含むGSC事業**及びそれらの後継事業、あるいは次世代科学技術チャレンジプログラム事業の第一段階修了者
農学部	フロンティア食品科学科	① 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者 ② 高校生等を対象とした本学iP-U*を含むGSC事業**及びそれらの後継事業、あるいは次世代科学技術チャレンジプログラム事業の第一段階修了者
	生物生産イノベーション科学科	
	環境システム科学科	
	エコロジカル社会経済学科	高校生等を対象とした本学iP-U*を含むGSC事業**及びそれらの後継事業、あるいは次世代科学技術チャレンジプログラム事業の第一段階修了者

* iP-U 科学技術振興機構「グローバルサイエンスキャンパス(GSC)」事業として採択されていた宇都宮大学の科学人材育成プログラム

** GSC事業 科学技術振興機構の支援を受けて大学等で実施する高校生等を対象としたグローバルサイエンスキャンパス事業

(3) 出願書類(概要)

総合型選抜A(一般)

学部	学科等	出願書類(概要)
データサイエンス経営学部	データサイエンス経営学科	入学志願票、調査書
地域デザイン科学部	コミュニティデザイン学科	入学志願票、調査書、活動経験等を踏まえた進学後の学習について
	建築都市デザイン学科	入学志願票、調査書
	社会基盤デザイン学科	入学志願票、調査書、地域社会貢献活動のタイトル・概要票
共同教育学部	学校教育 教育人間 科学系	教育 入学志願票、調査書、志望理由書、教育に関するレポート ※「教育に関するレポート」については、小学校教員又は中学校教員の仕事について書籍等の資料により調べた上で、教員経験者1名に話を聞き、1) 教員の仕事の内容、2) 教員の仕事の難しさや面白さについて、わかったことをレポートにまとめてください。
		教育心理 入学志願票、調査書、志望理由書
		特別支援教育 入学志願票、調査書、志望理由書

学部	学科等		出願書類（概要）		
共同教育学部	学校教育 教員養成課程	人文社会系	国語	入学志願票、調査書、志望理由書	
			社会	入学志願票、調査書、志望理由書	
			英語	入学志願票、調査書、志望理由書、 外国語や国際理解、異文化理解等にかかる主体的学習や活動の報告書 ※「外国語や国際理解、異文化理解等にかかる主体的学習や活動の報告書」については、テーマや内容として以下のような例に類する主体的な学習や活動で、その内容や成果等を具体的に示すことができるものについて報告書の作成・提出を求めます。なお、資格の取得や実績の達成等を内容に含む場合はその証拠となる資料（コピー可）を添付する必要があります。 (例) (1) 外国語や国際理解、異文化理解等にかかる以下の取り組み等 ・所属する高等学校等での「総合的な探究の時間」や課外活動等における取り組み ・地域や学校間で行われる催事（弁論大会や各種発表会など）への参加 ・大学等、他の公的教育機関が実施する学習プログラムへの参加 ・各種の検定や資格等の合格・取得に向けた学び ・ボランティア活動への従事 ・その他の自発的、主体的な学びや探究的な活動への取り組み (2) 国内外での他言語・異文化環境での学習や活動の経験	
		自然科学系	数学	入学志願票、調査書、志望理由書	
			理科	入学志願票、調査書、志望理由書、理科に関する活動報告書 ※「理科に関する活動報告書」については、高校時代に主体的に携わり、実施した理科に関する活動の一つについて、①～④を項目別に記載してください。 ① 活動のテーマ名 ② 上記①の活動に取り組んだ目的及び活動の内容（グループでの活動の場合は本人がどの程度どのような内容に貢献したかについても） ③ 活動から得られた成果（科学的知見等）と今後の課題 ④ 活動を通して身につけた力	
			技術	入学志願票、調査書、志望理由書	
		芸術・生活・健康系	音楽	入学志願票、調査書、志望理由書、実技試験のピアノで演奏する曲の楽譜に「〈ピアノ〉提出楽譜表紙」を添付したもの	
			美術	入学志願票、調査書、志望理由書	
			保健体育	入学志願票、調査書、志望理由書、スポーツ活動報告書 ※「スポーツ活動報告書」については、高校時代に経験してきたスポーツ活動（具体的な活動に関する資料を提出）に対してどのような意識、関心をもって取り組んできたか、そして、大学入学後、学校教員を目指すうえでどのように活かそうとするのか、について記載してください。 なお、スポーツ活動には、運動部活動のみならず、地域スポーツでの活動、学校における体育的行事の運営、審判活動などを含みます。	
			家政	入学志願票、調査書、志望理由書	
		工学部	基盤工学科	化学系	入学志願票、調査書、自己推薦書、プレゼンテーション資料
				機械・情報電子系	入学志願票、調査書、自己推薦書、プレゼンテーション資料
		農学部	フロンティア食品科学科	入学志願票、調査書、自己推薦書	
生物生産イノベーション科学科	入学志願票、調査書、自己推薦書、プレゼンテーション資料				
環境システム科学科	入学志願票、調査書、自己推薦書				
エコロジカル社会経済学科	入学志願票、調査書、自己推薦書				

総合型選抜A（特別）

学部	学科等		出願書類（概要）
工学部	基盤工学科	化学系	入学志願票、調査書、自己推薦書、プレゼンテーション資料、高校生等を対象とした本学iP-Uを含むGSC事業及びそれらの後継事業、あるいは次世代科学技術チャレンジプログラム事業の受講第一段階を修了したことが証明できるもの
		機械・情報電子系	
農学部	フロンティア食品科学科		
	生物生産イノベーション科学科		
	環境システム科学科		
	エコロジカル社会経済学科		

(4) 選抜方法

学部	学科等	選抜方法			
データサイエンス経営学部	データサイエンス経営学科	出願書類、論述試験、面接及び大学入学共通テストの結果を総合して選抜を実施します。 論述試験では、経営に関する数理的な分析とデータサイエンスに関する基礎的な素養及び論理的思考力を評価します。(試験時間90分) 面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり15～20分程度実施します。コミュニケーション能力と社会への貢献、経営に関する数理的な分析とデータサイエンスに対する関心や意欲を評価します。			
地域デザイン科学部	コミュニティデザイン学科	[第1次選考] 提出された書類により選考します。 [第2次選考：第1次選考の合格者に対して行います。] グループディスカッション（「活動経験等を踏まえた進学後の学習について」の内容のポスター（最大A0まで）をもとにした発表を含む）、面接、大学入学共通テストの結果を総合して選抜を実施します。面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり15分程度実施し、出願書類「活動経験を踏まえた進学後の学習について」とグループディスカッションの内容や問題意識などについて問います。主体的・協調的な姿勢、コミュニケーション能力、学習意欲、基本的知識や問題意識など、地域と向き合うにあたっての基礎力を評価します。			
	建築都市デザイン学科	造形実技、面接の結果及び出願書類を総合して選抜を実施します。面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施します。			
	社会基盤デザイン学科	プレゼンテーション及び面接の結果を総合して選抜を実施します。なお、面接では、理工学教育を受けるための基礎能力に関する数学と物理の口頭試問を含みます。プレゼンテーション及び面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり30分程度実施します。			
共同教育学部	学校教育教員養成課程	教育人間科学系	教育	グループディスカッション	試験当日に提示するテーマについて討論したのち、複数の面接員からの質問に答えます。
				面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり15～20分程度実施します。教育分野を学ぶ上での基礎的知識に関する口頭試問及び「教育に関するレポート」に関する質問を含みます。
			教育心理	講義レポート作成（注1）	教育に関する今日の課題についての30分程度の講義動画を視聴し、講義内容の要点と試験当日に提示する課題に関するレポートを60分で作成します。
				面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり20分程度実施します。教育心理分野に対する関心や、学校教員を目指す上での基礎的知識に関する口頭試問を含み、思考力、判断力、表現力、主体的な態度を評価します。
			特別支援教育	講義レポート作成（注1）	教育に関する今日の課題についての30分程度の講義動画を視聴し、講義内容の要点と試験当日に提示する課題に関するレポートを60分で作成します。
				面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり15～20分程度実施します。特別支援教育に関連する事柄を主題に、自ら考え、判断し、適切に表現することを通して、特別支援教育の学びに向かう関心や意欲、態度（適性・資質）を総合的に評価します。
		人文社会系	国語	講義レポート作成（注1）	教育に関する今日の課題についての30分程度の講義動画を視聴し、講義内容の要点と試験当日に提示する課題に関するレポートを60分で作成します。
				面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり15～20分程度実施します。国語分野への関心や、知識・思考力・表現力等を総合的に評価します。
			社会	講義レポート作成（注1）	教育に関する今日の課題についての30分程度の講義動画を視聴し、講義内容の要点と試験当日に提示する課題に関するレポートを60分で作成します。
				面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり30分程度実施します。社会科に関する知識・技能、教材の理解に関する口頭試問を含み、社会科教育への関心、及び思考力・判断力・表現力を評価します。

(注1) 共同教育学部における講義レポート作成については、それが課されている全ての分野で共通の課題とします。



学部	学科等		選 抜 方 法	
共同教育学部	人文社会系	英 語	講義レポート作成(注1)	教育に関する今日的課題についての30分程度の講義動画を視聴し、講義内容の要点と試験当日に提示する課題に関するレポートを60分で作成します。
			小論文	外国語や国際理解、異文化理解等にかかるトピック(試験当日提示)についての英語での小論文(30分で120語以上)を課し、英語分野への関心や、主体的に考える力及び表現する力を評価します。
			面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり15～20分程度実施します。英語分野で学ぶ上での基礎的知識に関する口頭試問を含みます。
	自然科学系	数 学	小論文	教職に関連する文章を題材とした50分の小論文試験を実施します。読解力や表現力などを総合的に評価します。
			基礎能力試験	高等学校等で学習する数学の内容に関する90分の基礎能力試験を行います。数学に関する基礎知識や数学的思考力を評価します。
			面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10～20分程度実施します。算数・数学科教員への意欲や、数学分野で学ぶ上での基礎的知識に関する口頭試問を含みます。
		理 科	講義レポート作成(注1)	教育に関する今日的課題についての30分程度の講義動画を視聴し、講義内容の要点と試験当日に提示する課題に関するレポートを60分で作成します。
			プレゼンテーション及び面接	「理科に関する活動報告書」の内容についてプレゼンテーション資料を準備し、プレゼンテーションを行います。面接では、プレゼンテーションの内容に基づいた口頭試問により表現力を評価するとともに、自然科学や理科の知識や捉え方、それらを将来教員となって教えることへの関心・意欲を総合的に評価します。プレゼンテーション及び面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり15分程度(そのうちプレゼンテーションは5分程度)実施します。
			技 術	講義レポート作成(注1)
	面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり15分程度実施します。技術分野で学ぶ上での科学的基礎知識(情報・数学や物理学等)やものづくり教育に関する創造性、また、それらを将来教員となって教えることへの関心・意欲等を総合的に評価します。		
	音 楽	実 技	実 技	楽典、ピアノ、学校教材による音楽の試験を行います。楽典の試験は一斉試験を30分程度、ピアノ、音楽の試験はそれぞれ個別に実施します。これらの試験を総合して、音楽の基礎的能力、表現力を評価します。 詳細については、44ページ「(表) 共同教育学部実技試験の内容」を参照すること。
			面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10分程度実施します。教職への関心・意欲、音楽の専門や音楽科教育に関する口頭試問を含みます。
	芸術・生活・健康系	美 術	実 技	90分間の素描を行います。 詳細については、44ページ「(表) 共同教育学部実技試験の内容」を参照すること。
			面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり15分程度実施します。教職への関心・意欲、図画工作・美術の教科書の記述や資料を題材とする口頭試問を含み、教科に関する知識、教材の理解、経験、コミュニケーション能力を評価します。
	保 健 体 育	保 健 体 育	講義レポート作成(注1)	教育に関する今日的課題についての30分程度の講義動画を視聴し、講義内容の要点と試験当日に提示する課題に関するレポートを60分で作成します。
			プレゼンテーション及び面接	「スポーツ活動報告書」に基づいてプレゼンテーション資料を準備し、5分程度のプレゼンテーションを行います。面接では、プレゼンテーションの内容等に関する10分程度の口頭試問を行います。これらは個別に実施し、複数の面接員により、教職への意欲、体育・スポーツ・健康についての関心と基礎的な知識、汎用的能力としての思考力、判断力、表現力等を総合的に評価します。

(注1) 共同教育学部における講義レポート作成については、それが課されている全ての分野で共通の課題とします。

学 部	学 科 等		選 抜 方 法
共同教育学部	学校教育教員養成課程	芸術・生活・健康系 家 政	プレゼンテーション及び面接 志願者自身が行った家庭科に関する探究活動についてプレゼンテーション資料を準備し、20分程度のプレゼンテーションを行います。資料はスライド1枚につきA3用紙1枚にカラー印刷したもの（10枚以内）を試験当日に持参し、指定するボードに掲示します。面接は、プレゼンテーションの内容等に関する口頭試問を含み、15分程度実施します。これらは個別に実施し、複数の面接員により教職への関心・意欲、家庭科に関する基礎的な知識と考え方、汎用能力としての思考力、判断力、表現力等を総合的に評価します。
工学部 総合型選抜A（一般）・（特別）共通	基盤工学科	化学系	出願書類、プレゼンテーションと質疑応答及び面接の結果を総合して選抜を実施します。 プレゼンテーションと質疑応答では、事前配布のプレゼンテーションフォーマットを用いて、自身が行った化学あるいは理科全般に関する課題をまとめて5分程度で発表し、発表内容に対する質疑応答及び化学に関する基礎知識の確認を行います。面接では、総合型選抜A（一般）・（特別）のいずれにおいても、入学後の修学意欲や抱負、及び化学への興味と関心の強さを評価します。これに加えて総合型選抜A（特別）では、未来を切り開いていこうとする夢と情熱を強く持ち、入学後、他の学生を感化し牽引できるようなリーダーシップを有しているかどうか、プレゼンテーション・質疑応答・面接を通して評価します。
		機械・情報電子系	出願書類、プレゼンテーションと質疑応答及び面接の結果を総合して選抜を実施します。 プレゼンテーションと質疑応答では、事前配布のプレゼンテーションフォーマットを用いて、自身が行った理数系分野に関する課題をまとめて5分程度で発表し、発表内容に対する質疑応答及び物理や数学の基礎知識の確認を行います。面接では、総合型選抜A（一般）は、基盤工学科で学ぶ意欲やコミュニケーション能力を評価します。総合型選抜A（特別）は、入学後の抱負や勉学に対する意欲等のほか、機械・情報・電気電子・光工学の各専門分野への興味と関心の強さをそれぞれ評価します。それに加えて、未来を切り開いていこうとする夢と情熱を強く持ち、入学後、他の学生を感化し牽引できるようなリーダーシップを有しているかどうかを評価します。
農学部 総合型選抜A（一般）		フロンティア食品科学科	出願書類、論述試験、グループディスカッション、レポート、面接を総合して選抜を実施します。 本学科で学ぶ適性を見るために、面接では意欲、主体性、コミュニケーション能力、思考力、表現力を中心に評価します。論述試験では思考力、表現力、フロンティア食品科学で必要とされる基礎学力を中心に評価します。グループディスカッションでは主体性、判断力、協働性、コミュニケーション能力を中心に評価します。レポートでは思考力、判断力、学びの基礎となる基本知識を中心に評価します。 また、主体性等を含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書等）を使用します。
		生物生産イノベーション科学科	出願書類、プレゼンテーション及び質疑応答、面接を総合して選抜を実施します。 プレゼンテーション及び質疑応答では、学修及び研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体性について評価します。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、思考力、表現力などを評価します。 また、主体性等を含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書等）を使用します。
		環境システム科学科	出願書類、論述試験、グループディスカッション、レポート、面接を総合して選抜を実施します。 本学科で学ぶ適性を見るために、面接では意欲、コミュニケーション能力、思考力、表現力を中心に評価します。論述試験では思考力、表現力、環境システム科学で必要とされる基礎学力を中心に評価します。グループディスカッションでは主体性、判断力、協働性、コミュニケーション能力を中心に評価します。レポートでは思考力、判断力、学びの基礎となる基本知識を中心に評価します。 また、主体性等を含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書等）を使用します。
		エコロジカル社会経済学科	出願書類、論述試験、グループディスカッション、レポート、面接を総合して選抜を実施します。 本学科で学ぶ適性を見るために、面接では意欲、コミュニケーション能力、思考力、表現力を中心に評価します。論述試験では思考力、表現力、エコロジカル社会経済学で必要とされる基礎学力を中心に評価します。グループディスカッションでは主体性、判断力、協働性、コミュニケーション能力を中心に評価します。レポートでは思考力、判断力、学びの基礎となる基礎的な知識を中心に評価します。 また、主体性等を含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書等）を使用します。



学 部	学 科 等	選 抜 方 法
農 学 部 総合型選抜 A (特 別)	フロンティア食品科学科	<p>出願書類、論述試験、グループディスカッション、レポート、面接、プレゼンテーション及び質疑応答を総合して選抜を実施します。</p> <p>本学科で学ぶ適性を見るために、面接では意欲、主体性、コミュニケーション能力、思考力、表現力を中心に評価します。論述試験では思考力、表現力、フロンティア食品科学で必要とされる基礎学力を中心に評価します。グループディスカッションでは主体性、判断力、協働性、コミュニケーション能力を中心に評価します。レポートでは思考力、判断力、学びの基礎となる基本知識を中心に評価します。</p> <p>それに加えて、グローバルサイエンスキャンパスなどにおける探究活動のプレゼンテーション（5分）及び質疑応答では、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体性について評価します。</p> <p>また、主体性等を含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書等）を使用します。</p>
	生物生産イノベーション科学科	<p>出願書類、プレゼンテーション及び質疑応答、面接を総合して選抜を実施します。</p> <p>プレゼンテーション及び質疑応答では、学修及び研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体性について評価します。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、思考力、表現力などを評価します。</p> <p>また、主体性等を含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書等）を使用します。</p>
	環境システム科学科	<p>出願書類、論述試験、グループディスカッション、レポート、面接、プレゼンテーション及び質疑応答を総合して選抜を実施します。</p> <p>本学科で学ぶ適性を見るために、面接では意欲、コミュニケーション能力、思考力、表現力を中心に評価します。論述試験では思考力、表現力、環境システム科学で必要とされる基礎学力を中心に評価します。グループディスカッションでは主体性、判断力、協働性、コミュニケーション能力を中心に評価します。レポートでは思考力、判断力、学びの基礎となる基本知識を中心に評価します。</p> <p>それに加えて、グローバルサイエンスキャンパスなどにおける探究活動のプレゼンテーション（5分）及び質疑応答では、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体性について評価します。</p> <p>また、主体性等を含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書等）を使用します。</p>
	エコロジカル社会経済学科	<p>出願書類、論述試験、グループディスカッション、レポート、面接、プレゼンテーション及び質疑応答を総合して選抜を実施します。</p> <p>本学科で学ぶ適性を見るために、面接では意欲、コミュニケーション能力、思考力、表現力を中心に評価します。論述試験では思考力、表現力、エコロジカル社会経済学で必要とされる基礎学力を中心に評価します。グループディスカッションでは主体性、判断力、協働性、コミュニケーション能力を中心に評価します。レポートでは思考力、判断力、学びの基礎となる基礎的な知識を中心に評価します。</p> <p>それに加えて、グローバルサイエンスキャンパスなどにおける探究活動のプレゼンテーション（5分）及び質疑応答では、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力及び主体性について評価します。</p> <p>また、主体性等を含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書等）を使用します。</p>

(表) 共同教育学部実技試験の内容

系・分野	内 容
芸術・生活・健康系	<p>次の1、2、3の内容を課します。</p> <p>1. 楽 典 楽式論、作曲法、音楽史の内容を含みません。</p> <p>2. 声 楽 次の①・②の日本歌曲から任意の1曲を選択し、歌詞の1番を暗譜で演奏してください。(伴奏者は本学で用意します。)</p> <p>① 林 古溪 作詞、成田 為三 作曲《浜辺の歌》(へ長調)</p> <p>② 江間 章子 作詞、中田 喜直 作曲《夏の思い出》(二長調)</p> <p>3. ピ ア ノ ピアノ独奏による自由曲(3分以上の楽曲)1曲を暗譜で演奏してください。(反復は省略。)</p> <p>[注] ピアノで演奏する曲の楽譜(コピー可)に本学様式「〔ピアノ〕提出楽譜表紙」(本選抜の学生募集要項に掲載)を添付し、出願時に提出してください。(ただし、提出された楽譜は返却しません。)</p>
	<p>90分間の素描</p> <p>[注] モチーフ及び試験に使用する画材類は、全て大学で用意します。</p>

総合型選抜A（一般）の選抜方法等

学部・学科等	大学入学共通テストの利用教科・科目名			大学の試験等（注）		大学入学共通テスト・大学の試験等の配点							配点 合計			
	教科	科目名等	科目等	試験の内容等	大学入学共通テスト			大学の試験等								
					国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	小計	論述 試験	グループ ディスカッション		プレゼン テーション	面接	造形 実技
経営学 部	国 数 外	「国」 「数ⅠA」 「数ⅡBC」 「英」、「独」、「仏」から1 「中」、「韓」 〔3教科4科目〕	その他	出願書類 論述試験 面接 大学入学共通テスト	100	100	100	300	300	300				300	900	
地域デザイン科学部	国 数 外	「国」 「数ⅠA」、「数Ⅰ」から1 「数ⅡBC」 「英」、「独」、「仏」から1 「中」、「韓」 〔3教科4科目〕	その他	第1次選考：出願書類 第2次選考：グループディスカッション 面接 大学入学共通テスト	200		200	600	600	300				300	1200	
	市 科	大学入学共通テストを課さない。	その他	出願書類 造形実技 面接										600	400	1000
	基 盤 科	大学入学共通テストを課さない。	その他	出願書類 プレゼンテーション・面接									100		100	

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄（教科・科目名の表記については28ページ参照）
「英」は、リスニングを含みます。

【大学の試験等】欄
（注）各学部・学科における試験の詳細については、41ページをご確認ください。

【大学入学共通テスト・大学の試験等の配点】欄
データサイエンス経営学部データサイエンス経営学科

大学入学共通テストについて、国語は0.5倍（100点満点）に、数学は「数ⅠA」、「数ⅡBC」をそれぞれ0.5倍（各50点満点）、英語のリーディング（筆記試験）は0.75倍（75点満点）に、リスニングは0.25倍（25点満点）にそれぞれ換算します。なお、リスニングを免除された場合は、リーディング（筆記試験）をそのまま利用します。英語以外の外国語の場合は、筆記試験を0.5倍（100点満点）に換算します。

地域デザイン科学部コミュニティデザイン学科

大学入学共通テストについて、英語のリーディング（筆記試験）は1.5倍（150点満点）に、リスニングは0.5倍（50点満点）にそれぞれ換算します。なお、リスニングを免除された場合は、リーディング（筆記試験）を2倍（200点満点）に換算します。英語以外の外国語の場合は、筆記試験をそのまま利用します。



学部・学科等	大学入学共通テストの利用教科・科目名		大学の試験等 (注1)		大学の試験等の配点 (注3)							
	教科	科目名等	科目等	検査の内容等	講義レポート	小論文	基礎能力試験	グループディスカッション	プレゼンテーション	面接	実技	配点合計
教育学部	教育	大学入学共通テストを課さない。	その他	出願書類 グループディスカッション 面接				100		100		200
	教育心理	大学入学共通テストを課さない。	その他	出願書類 講義レポート作成 (注2) 面接	100					100		200
人間科学系	特別支援教育	大学入学共通テストを課さない。	その他	出願書類 講義レポート作成 (注2) 面接	100					100		200
	国語	大学入学共通テストを課さない。	その他	出願書類 講義レポート作成 (注2) 面接	100					100		200
人文社会科学系	社会	大学入学共通テストを課さない。	その他	出願書類 講義レポート作成 (注2) 面接	100					100		200
	英語	大学入学共通テストを課さない。	その他	出願書類 講義レポート作成 (注2) 小論文 面接	100	50				50		200
自然科学系	数学	大学入学共通テストを課さない。	その他	出願書類 小論文 基礎能力試験 面接		100	70			30		200
	理科	大学入学共通テストを課さない。	その他	出願書類 講義レポート作成 (注2) プレゼンテーション及び面接	100				100			200
芸術系	美術	大学入学共通テストを課さない。	その他	出願書類 講義レポート作成 (注2) 面接	100					100		200
	音楽	大学入学共通テストを課さない。	その他	出願書類 実技 面接						100	100	200
芸術・生活・健康系	美術	大学入学共通テストを課さない。	その他	出願書類 実技 面接						100	100	200
	保健体育	大学入学共通テストを課さない。	その他	出願書類 講義レポート作成 (注2) プレゼンテーション及び面接	100				100			200
家政	大学入学共通テストを課さない。	その他	その他	出願書類 プレゼンテーション及び面接					100	100		200

【大学の試験等】欄
 (注1) 各分野における試験の内容の詳細については、41～43ページをご確認ください。
 (注2) 「講義レポート作成」は、教育に関する今日的課題についての講義動画を視聴し、講義内容の要点と試験当日に提示する課題に関するレポートを作成します。なお、それが誤されている全ての分野で共通の課題とします。

【大学の試験等の配点】欄
 (注3) 大学の試験等では、主に教職に携わる意欲、教育への関心、論理的思考力等を評価する基礎的選考(アンダーラインを引いた配点)及び、主にそれぞれの学校種・教科に関する基礎的知識や思考力、判断力、表現力、主体性等を評価する選考を行います。

学部・学科等		大学入学共通テストの利用教科・科目名		大学の試験等（注1）		大学入学共通テスト・本学の試験等の配点							配点合計						
		教科	科目名等	科目等	試験の内容等	大学の試験等													
						国語	地歴公民	数学	理科	外国語	小計	書類選考		論述	グループディスカッション	レポート	プレゼンテーション及び質疑応答	面接	
工学部	化学系 基礎工学 機械・情報 電子系	大学入学共通テストを課さない。	その他	出願書類 プレゼンテーション及び質疑応答 面接											100	100			
				出願書類 プレゼンテーション及び質疑応答 面接													100	100	
農学部	フロンティア 食品科学科	大学入学共通テストを課さない。	その他	出願書類 論述試験 グループディスカッション グループプレゼンテーションのレポート 面接								100	60	40	100	300			
				出願書類 プレゼンテーション及び質疑応答 面接													200	100	300
				出願書類 論述試験 グループディスカッション グループプレゼンテーションのレポート 面接										100	70	30	100	100	300
				出願書類 論述試験 グループディスカッション グループプレゼンテーションのレポート 面接										100	25	25	100	150	300

【大学の試験等】欄
(注1) 各学部・学科・系における試験の内容の詳細については、43～44ページをご確認ください。
(注2) 工学部基礎工学科の化学系及び機械・情報電子系で2段階選抜を行う場合は、調査書・自己推薦書・プレゼンテーション資料に基づいて第1次選考を行います。
(注3) 農学部フロンティア食品科学科で2段階選抜を行う場合は、調査書・自己推薦書に基づいて第1次選考を行います。
(注4) 農学部生物生産イノベーション系で2段階選抜を行う場合は、調査書・自己推薦書・プレゼンテーション資料に基づいて第1次選考を行います。



総合型選抜A（特別）の選抜方法

学部・学科等	大学入学共通テストの利用教科・科目名			大学の試験等（注）	大学入学共通テスト						大学の試験等の配点				配点合計
	教科	科目名等	科目等		国語	地歴公民	数学	理科	外国語	小計	書類選考	本書の試験等			
												論述	グループディスカッション	レポート	
工学部	化学系 基礎工学科 機械情報電子系	大学入学共通テストを課さない。	その他	出願書類 プレゼンテーション及び質疑応答 面接										100	100
				出願書類 プレゼンテーション及び質疑応答 面接											
農学部	フロンティア 食品科学科	大学入学共通テストを課さない。	その他	出願書類 論述試験 グループディスカッション プレゼンテーション及び質疑応答 面接	100						60	40	100	100	400
				出願書類 プレゼンテーション及び質疑応答 面接											
農学部	環境システム 科学科	大学入学共通テストを課さない。	その他	出願書類 論述試験 グループディスカッション プレゼンテーション及び質疑応答 面接	100						70	30	200	100	500
				出願書類 論述試験 グループディスカッション プレゼンテーション及び質疑応答 面接	100									25	25

【大学の試験等】欄
（注）各学部・学科・系における試験の内容の詳細については、43～44ページをご確認ください。

2 総合型選抜B（帰国生）

実施学部・学科名	国際学部国際学科	
募集人員	2名	
出願資格	日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、次の(1)~(7)の要件のいずれかに該当する者。	
	<p>(1) 学校教育における12年の課程のうち、外国の学校に最終の学年を含め2年以上継続して在学し、令和7年4月1日から令和9年3月31日までに修了又は修了見込みの者。</p> <p>(2) 令和7年4月1日から令和9年3月31日までに日本の高等学校若しくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者で、日本の教育制度の中学校及び高等学校若しくは中等教育学校に相当する期間のうち、外国においてその国の教育制度に基づく中学校ないし高等学校に通算3年以上在籍した者。ただし、日本の高等学校若しくは中等教育学校後期課程の在学期間は2年以内の者とする。</p> <p>(注) 上記(1)及び(2)については、外国に設置された学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている在外教育施設は含まれません。</p> <p>(3) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を令和7年4月1日から令和9年3月31日までに取得した者。</p> <p>(4) ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められているアビトゥア資格を令和7年4月1日から令和9年3月31日までに取得した者。</p> <p>(5) フランス共和国において、大学入学資格として認められているバカロレア資格を令和7年4月1日から令和9年3月31日までに取得した者。</p> <p>(6) グレート・ブリテン及び北アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を令和7年4月1日から令和9年3月31日までに取得した者。</p> <p>(7) 欧州連合構成国において大学入学資格として認められている欧州バカロレア資格を令和7年4月1日から令和9年3月31日までに取得した者。</p>	
出願書類 (概要)	<p>共通：入学志願票、渡航状況説明書及び、下記の書類のうちいずれか1点 実用英語技能検定「合格証明書」又は「英検CSEスコア証明書」、TOEIC「TOEIC Listening & Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」、TOEFL iBT公式スコア、IELTS「追加成績証明書」、GTEC (CBT タイプ又は検定版 (Advancedタイプ))「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」、TEAP (4技能) 又はTEAP CBT「成績表」のいずれか。</p> <p>入試の実施日から、実用英語技能検定（一次試験と二次試験にまたがって実施された試験については一次試験日とする）、TOEIC Listening & Readingは過去3年以内、TOEFL iBT、IELTS、GTEC (CBT タイプ又は検定版 (Advancedタイプ))、TEAP 4技能パターン又はCBTは過去2年以内のスコアを出願書類として有効とします。</p> <p>TOEFL iBTは Test Date スコアのみを有効とし、ETSアカウントにてDIコード7976を選択し、本学へのスコアの送付（オンライン）を手配してください。</p> <p>また、IELTS「追加成績証明書」は、出願期間最終日までに試験運営機関（海外で受験した場合、当該地域の事務局）から本学あて直接届くよう、受験者が別途申請してください。</p>	
	<p>その他、出願要件により次のとおり</p> <p>◇出願要件(1)及び(2)に該当する者 卒業（修了）証明書又は同見込み証明書、成績証明書（高校に相当する3年分） 他</p> <p>◇出願要件(3)に該当する者 国際バカロレア資格証書の写し、I B 最終試験の成績評価証明書 他</p> <p>◇出願要件(4)に該当する者 アビトゥア資格証書の写し、一般的大学入学資格証明書の写し 他</p> <p>◇出願要件(5)に該当する者 バカロレア資格証書の写し、バカロレア資格試験成績証明書 他</p> <p>◇出願要件(6)に該当する者 成績評価証明書の写し 他</p> <p>◇出願要件(7)に該当する者 欧州バカロレア資格証書の写し、欧州バカロレア最終試験成績証明書の写し 他</p> <p>◎日本語以外の言語で記載されている書類には、訳文の提出を求める場合があります。</p>	
選抜方法	<p>入学者の選抜は、出願書類、英語外部試験のスコアの他、下記の検査等を総合して決定します。</p>	
	小論文	<p>課題文（A 4、1～2ページ程度）を読み、問題の指示に従って800字程度の小論文を書く。日本語で書かれた課題文の内容を的確に理解し、要点を把握する能力と、自分の知識や経験を活かして独自の創性のある考えをまとめる能力、考察を論理的に進めて文章を構成する能力、日本語の表現・表記の能力等を評価する。</p>
	面接	<p>複数の面接員により、15分程度の個人面接を行う。志望動機、関心のある領域・問題、将来の計画等を尋ねる。国際的な社会的文化的事象に対する関心の度合い、学修意欲、適性、面接員の問いを精緻に把握して、自分の考えを説得力を持って伝える能力等を評価する。</p>
出願期間	令和8年12月2日（水）～12月4日（金）	
試験日	令和9年1月25日（月）	
合格者発表日	令和9年2月10日（水）	

*総合型選抜B（帰国生）の詳細は、「令和9年度宇都宮大学総合型選抜B（帰国生）学生募集要項」を参照してください。

3 総合型選抜C（社会人）

実施学部・学科名	国際学部国際学科	
募集人員	若干名	
出願資格	<p>令和9年3月31日までに23歳に達する者で、社会人の経験を5年以上有し、次の要件のいずれかに該当する者。</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者。</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者。</p> <p>(3) 大学入学資格検定合格者。</p> <p>(4) 高等学校卒業程度認定試験合格者。</p> <p>(5) 旧制諸学校の卒業者及び中途退学者で、文部科学大臣の定めるところによる大学入学資格を有すると認められる者。</p> <p>(6) その他、学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者。</p>	
出願書類（概要）	<p>入学志願票、卒業証明書又は調査書、経歴書、志望理由書及び、下記の書類のうちいずれか1点</p> <p>実用英語技能検定「合格証明書」又は「英検CSEスコア証明書」、TOEIC「TOEIC Listening & Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」、TOEFL iBT公式スコア、IELTS「追加成績証明書」、GTEC（CBTタイプ又は検定版（Advancedタイプ））「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」、TEAP4技能パターン又はCBT「成績表」のいずれか。</p> <p>入試の実施日から、実用英語技能検定（一次試験と二次試験にまたがって実施された試験については一次試験日とする）、TOEIC Listening & Readingは過去3年以内、TOEFL iBT、IELTS、GTEC（CBTタイプ又は検定版（Advancedタイプ））、TEAP4技能パターン又はCBTは過去2年以内のスコアを出願書類として有効とします。</p> <p>TOEFL iBTは Test Date スコアのみを有効とし、ETSアカウントにてDIコード7976を選択し、本学へのスコアの送付（オンライン）を手配してください。</p> <p>また、IELTS「追加成績証明書」は、出願期間最終日までに試験運営機関（海外で受験した場合、当該地域の事務局）から本学あて直接届くよう、受験者が別途申請してください。</p>	
選抜方法	<p>入学者の選抜は、出願書類、英語外部試験のスコア、小論文及び面接を総合して決定します。</p>	
	小論文	<p>課題文（A4、1～2ページ程度）を読み、問題の指示に従って800字程度の小論文を書く。日本語で書かれた課題文の内容を的確に理解し、要点を把握する能力と、自分の知識や経験を活かして独自性や客観性のある考えをまとめる能力、考察を論理的に展開して文章に構成する能力、日本語の表現・表記の能力等を評価する。</p>
	面接	<p>複数の面接員により、15分程度の個人面接を行う。志望動機、関心のある領域・問題、将来の計画等を尋ねる。国際的な社会的文化的事象に対する関心の度合い、学修意欲、適性、面接員の問いに応じて、精緻に熟考し、自分の考えを説得力を持って伝える能力等を評価する。</p>
出願期間	令和8年12月2日（水）～12月4日（金）	
試験日	令和9年1月25日（月）	
合格者発表日	令和9年2月10日（水）	

*総合型選抜C（社会人）の詳細は、「令和9年度宇都宮大学総合型選抜C（社会人）学生募集要項」を参照してください。

4 総合型選抜D（外国人生徒）

実施学部・学科名	国際学部国際学科	
募集人員	3名	
出願資格	<p>次の①から④の要件の全てを満たす者</p> <p>① 日本の国籍を有せず、出入国管理及び難民認定法により、大学入学に支障のない在留資格を有する者</p> <p>② 実用英語技能検定（「英検」（従来型）、「英検S-CBT」、「英検S-Interview」）スコア1,950点以上、TOEIC Listening & Reading（公開テスト）スコア550点以上、TOEFL iBT又はHome Editionスコア（Test Dateスコアに限る）42以上、IELTSオーバーオール・バンド・スコア4.0以上、GTEC（CBTタイプ又は検定版（Advancedタイプ））スコア930点以上、TEAP（4技能パターン）スコア225点以上、TEAP CBTスコア420点以上のいずれかを取得している者</p> <p>③ 次の(ア)又は(イ)のいずれかに該当していること (ア)日本国内の高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月に卒業見込みの者 (イ) 文部科学大臣が日本の高等学校相当として指定している外国人学校（文部科学省「我が国において、高等学校相当として指定した外国人学校」）を修了した者及び令和9年3月に修了見込みの者（12年未満の課程の場合には、さらに指定された準備教育課程（文部科学大臣指定準備教育課程）を修了する必要がある）</p> <p>④ JLPT 日本語能力試験N1を取得していること</p>	
出願書類（概要）	<p>入学志願票、卒業（修了）証明書又は同見込み証明書、調査書若しくは成績証明書、推薦書、志望理由書、在留カード又は住民票の写し、JLPT 日本語能力試験「認定結果及び成績に関する証明書」（N1）及び下記の書類のうちいずれか1点 実用英語技能検定「合格証明書」又は「英検CSEスコア証明書」、TOEIC「TOEIC Listening & Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」、TOEFL iBT公式スコア、IELTS「追加成績証明書」、GTEC（CBTタイプ又は検定版（Advancedタイプ））「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」、TEAP 4技能パターン又はCBT「成績表」のいずれか。</p> <p>入試の実施日から、実用英語技能検定（一次試験と二次試験にまたがって実施された試験については一次試験日とする）、TOEIC Listening & Reading は過去3年以内、TOEFL iBT、IELTS、GTEC（CBTタイプ又は検定版（Advancedタイプ））、TEAP 4技能パターン又はCBTは過去2年以内のスコアを出願書類として有効とします。</p> <p>TOEFL iBTはTest Date スコアのみを有効とし、ETSアカウントにてDIコード7976を選択し、本学へのスコアの送付（オンライン）を手配してください。</p> <p>また、IELTS「追加成績証明書」は、出願期間最終日まで試験運営機関（海外で受験した場合、当該地域の事務局）から本学あて直接届くよう、受験者が別途申請してください。</p>	
選抜方法	<p>入学者の選抜は出願書類（志望理由書等）、英語外部試験のスコアの他、下記の検査等を総合して決定します。</p>	
	小論文	<p>課題文（A4、1～2ページ程度）を読み、問題の指示に従って800字程度の小論文を書く。日本語で書かれた課題文の内容を的確に理解し、要点を把握する能力と、自分の知識や経験を活かして自分の考えをまとめる能力、論理的に考察を進めて文章に構成する能力、日本語の表現・表記の能力を評価する。</p>
	面接	<p>複数の面接員により、20分程度の個人面接を行う。志望動機、国際的な社会的文化的事象に対して関心のある領域・問題、将来の計画等を尋ねる。学修意欲、適性、面接員からの問いに面接員からの問いの本質を理解して、自分の考えを説得力を持って伝える能力等を評価する。</p>
出願期間	令和8年12月2日（水）～12月4日（金）	
試験日	令和9年1月25日（月）	
合格者発表日	令和9年2月10日（水）	

*総合型選抜D（外国人生徒）の詳細は、「令和9年度宇都宮大学総合型選抜D（外国人生徒）学生募集要項」を参照してください。



VI 学校推薦型選抜

本学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの学部・学科・分野に限られます。なお、本学の学校推薦型選抜に出願した者は、他の国公立大学における学校推薦型選抜に出願することはできません。

学校推薦型選抜の出願者は一般選抜に出願することも可能です。また、共同教育学部を除いて、総合型選抜に出願することも可能です。それらの場合の本学への出願は、各学生募集要項によります。ただし、学校推薦型選抜の合格者は、特別の事情に基づき入学辞退を許可された場合を除き、本学及び他の国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う大学・学部を除く）の一般選抜を受験しても合格者となりません。（※公立大学協会ホームページ（<https://www.kodaikyo.org/>）参照）

（注）学校推薦型選抜の詳細は、「学校推薦型選抜学生募集要項」を参照してください。

1 募集人員、出願期間、試験日及び合格者発表日

学部・学科等			募集人員	*摘要（学校長が推薦できる人数）	出願期間	試験日	合格者発表日	
国際学部	一般推薦	国際学科	36名	2名以内	11月4日(水) 、 11月9日(月)	11月28日(土)	12月9日(水)	
共同教育学部	一般推薦	学校教育教員養成課程	**全ての系・分野	20名				
工学部	***一般推薦	基盤工学科	化学系	10名				
			機械・情報電子系	25名				
	****専門高校・総合学科推薦	基盤工学科	機械・情報電子系	5名				
農学部	一般推薦	フロンティア食品科学科		7名				
		生物生産イノベーション科学科		8名				2名以内
		環境システム科学科		6名				
		エコロジカル社会経済学科		5名				
	専門高校・総合学科推薦	フロンティア食品科学科		2名				
		生物生産イノベーション科学科		3名	2名以内			
		環境システム科学科		4名				
		エコロジカル社会経済学科		2名				

* 複数の課程（全日制、定時制、通信制）を置く高等学校は、課程ごとに、上記の摘要欄に記載されている人数以内で推薦できます。

** 共同教育学部に合格し入学した者の系・分野振分けは、1分野5名を上限として入学時に本人の希望等により決定します。

*** 工学部基盤工学科の一般推薦については、化学系と機械・情報電子系の2つの系に分けて入学者選抜を行います。化学系に合格し入学した者は2年次より応用化学コースに配属されます。機械・情報電子系に合格し入学した者は、本人の希望と1年次成績により機械システム工学コース又は情報電子オプティクスコースに配属されます。

**** 工学部基盤工学科の専門高校・総合学科推薦に合格し入学した者は、出願時の希望配属コースに従って2年次より機械システム工学コース又は情報電子オプティクスコースに配属されます。

2 出願資格

1) 一般推薦

次の(ア)及び(イ)に該当し、(ウ)の志望学部・学科等の要件の全てを満たす者とします。

(ア) 次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を令和9年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和8年度中に高等学校若しくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者
- ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等又は相当する課程を有するとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和8年度中に修了又は修了見込みの者
- ③ 高等専門学校の第3学年を令和9年3月修了見込みの者

(イ) 本学に入学後意欲的に勉学に励むと出身学校長が責任をもって推薦する者。ただし、共同教育学部学校教育教員養成課程にあっては、本学に入学後、学校教員を目指して意欲的に勉学に励むと出身学校長が責任をもって推薦する者

(ウ) 各学部・学科等の要件（下表）

学 部	学 科 等	要 件
国際学部	国 際 学 科	① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）、中等教育学校、在外教育施設若しくは高等専門学校において学業成績及び人物が優れた者 ② 実用英語技能検定（「英検」（従来型）、「英検S-CBT」、「英検S-Interview」）スコア1,950点以上、TOEIC Listening & Reading（公開テスト）スコア550点以上、GTEC（CBTタイプ又は検定版(Advancedタイプ)）スコア930点以上、TEAP（4技能）スコア225点以上、TEAP CBTスコア420点以上のいずれかを取得している者（注1） ③ 調査書の学習成績概評がB以上の者
共同教育学部	学校教育教員養成課程 全 て の 系 ・ 分 野 (注2)	① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）、中等教育学校、在外教育施設若しくは高等専門学校において学業成績及び人物が優れた者 ② 将来、栃木県内の小学校教員として活躍することに強い希望と意志を有する者 ③ 調査書の学習成績概評がB以上の者
工学部	基 盤 工 学 科	① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）、中等教育学校、在外教育施設若しくは高等専門学校において学業成績及び人物が優れた者 ② 調査書の学習成績概評がB以上の者
農学部	フロンティア食品科学科	① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）、中等教育学校、在外教育施設若しくは高等専門学校において学業成績及び人物が優れた者 ② 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者
	生物生産イノベーション科学科	① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）、中等教育学校、在外教育施設若しくは高等専門学校において学業成績及び人物が優れた者 ② 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者
	環境システム科学科	① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）、中等教育学校、在外教育施設若しくは高等専門学校において学業成績及び人物が優れた者 ② 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者
	エコロジカル社会経済学科	① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）、中等教育学校、在外教育施設若しくは高等専門学校において学業成績及び人物が優れた者 ② 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者

(注1) 国際学部国際学科の要件②について、入試の実施日から、実用英語技能検定（一次試験と二次試験にまたがって実施された試験について一次試験日とする）、TOEIC Listening & Reading については過去3年以内、GTEC（CBTタイプ又は検定版(Advancedタイプ)）、TEAP（4技能）・TEAP CBTについては過去2年以内のスコアを出願書類として有効とします。

(注2) 学校推薦型選抜において共同教育学部に出願する者は、本学の総合型選抜A（一般）では共同教育学部に出願することはできません。

2) 専門学校等推薦

次の(ア)及び(イ)に該当し、(ウ)の志望学部・学科等の要件の全てを満たす者とします。

(ア) 次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を令和9年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和8年度中に高等学校若しくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者
- ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等又は相当する課程を有するとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和8年度中に修了又は修了見込みの者
- ③ 高等専門学校の第3学年を令和9年3月修了見込みの者

(イ) 本学に入学後意欲的に勉学に励むと出身学校長が責任をもって推薦する者

(ウ) 学部・学科等ごとに定める要件（下表）

学部	推薦区分	学科等	要件
工学部	専門学校・総合学科推薦	基盤工学科 機械・情報電子系	① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）、中等教育学校の普通科以外の職業教育を主とする学科若しくは総合学科において、学業成績及び人物が優れた者（注） ② 調査書の学習成績概評がAの者
農学部	専門学校・総合学科推薦	フロンティア 食品科学科	① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）、中等教育学校の普通科以外の職業教育を主とする学科若しくは総合学科において、農業あるいは家庭に関する科目を履修し、学業成績及び人物が優れた者（注） ② 調査書の全体の学習成績の状況が4.2以上の者
		生物生産 イノベーション 科学科	① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）、中等教育学校の普通科以外の職業教育を主とする学科若しくは総合学科において、農業に関する科目を履修し、学業成績及び人物が優れた者（注） ② 将来、農業及び農業関連産業に従事し、この分野の指導的立場を目指す者 ③ 調査書の全体の学習成績の状況が4.2以上の者
		環境システム 科学科	① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）、中等教育学校の普通科以外の職業教育を主とする学科若しくは総合学科において、農業に関する科目を履修し、学業成績及び人物が優れた者（注） ② 調査書の全体の学習成績の状況が4.2以上の者
		エコロジカル 社会経済学科	① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）、中等教育学校、在外教育施設若しくは高等専門学校の農業に関する学科又は商業に関する学科において、学業成績及び人物が優れた者。また総合学科において農業あるいは商業に関する科目を併せて20単位以上履修し、学業成績及び人物が優れた者（注） ② 農業・食料・環境に関わる社会問題や農山村地域の暮らしに関心のある者 ③ 調査書の全体の学習成績の状況が4.2以上の者

(注) 各要件に記載されている出身学科（工業に関する学科、農業に関する学科、商業に関する学科、家庭に関する学科等）に該当するか疑義のある場合、又は各要件に記載されている科目等名に該当するか疑義のある場合は、10月14日（水）までに学務部入試課へ問い合わせてください。

3 選抜の方法

入学者の選抜は、大学入学共通テストを課さず、出願書類の他、学部・学科等が課す面接・小論文・基礎能力試験の結果を総合して決定します。

学部	学科等	選 抜 方 法	
国際学部	国際学科	面接	複数の面接員により、40分程度の集団面接を行う。面接に先立って、国際的な社会的文化的事象に関する内容の課題文（A4、1～2枚程度）を読む。面接では、まず自己推薦書等に関連して一人ずつ自己紹介、自己アピールをする。次に、課題文に関する討論を行う。この集団面接によって、国際的な事象に関する知識を活用する能力、課題文と他者の発言を理解する能力、問題点を把握する能力、自分の考えを論理的に構成して表現する能力、討論を建設的な方向に導く能力等、理解力・思考力・表現力・コミュニケーション力等を評価する。
共同教育 学部	学校教育教員 養成課程 全ての系・分野	小論文	基礎的知識とともに表現力や論理的思考力等を評価する。
		面接	面接は集団面接とし、複数の面接員により20分程度実施する。調査書等をもとに、アドミッション・ポリシーで求める小学校教員への学修意欲・適性等をみる。
工学部	基盤工学科	基礎能力 試験	理数系分野の基礎知識と論理的思考力をみる。数学、物理、化学、英語など高等学校等で学習する内容に関する基礎知識や論理的思考力を評価する。
		面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10分～30分程度行う。理数系の基礎的な能力、適性、学修意欲、コミュニケーション能力などを評価する。なお、面接時間は受験者数や状況などに応じて変わる場合があるが、時間の長さには影響しない。
農学部	フロンティア 食品科学科	小論文	諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価する。
		面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10分～15分程度実施する。本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、高等学校で修得すべき基礎知識、思考力、表現力などを評価する。
	生物生産 イノベーション 科学科	小論文	諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価する。
		面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10分～20分程度実施する。本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、高等学校で修得すべき基礎知識、思考力、表現力などを評価する。
	環境システム 科学科	小論文	諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価する。
		面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり15分～20分程度実施する。本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、高等学校で修得すべき基礎知識、思考力、表現力などを評価する。数学又は生物に関する内容の試問を数分程度含む。
	エコロジカル 社会経済学科	小論文	諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価する。
		面接	面接は個人面接とし、複数の面接員により一人あたり10分～20分程度実施する。本学科で学ぶ適性を見るために、志望動機、社会的関心、将来の抱負などについて質問し、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、高等学校で修得すべき基礎知識、思考力、表現力などを評価する。

Ⅶ 私費外国人留学生選抜

実施学部・学科名	地域デザイン科学部各学科、国際学部国際学科、工学部基盤工学科、農学部各学科	
募集人員	国際学部国際学科：5名 地域デザイン科学部・工学部・農学部：各学部とも若干名	
出願資格	次のⅠに掲げる要件の全てを満たし、Ⅱに掲げる要件のいずれかを満たす者	
	Ⅰ	(1) 日本の国籍を有せず、出入国管理及び難民認定法により、大学入学に支障のない在留資格を有する者 (2) 独立行政法人日本学生支援機構が2025年(令和7年)第1回試験(6月)以降に実施する「日本留学試験」のうち、本学が指定している試験科目を受験している者(57ページの表を参照のこと)。 (3) 出願する学部・学科によっては TOEFL iBT を受験することを必要とします。(該当する学部・学科は57ページの表を参照のこと) 国際学部へ出願する者は、TOEFL iBT又はHome Edition (Test Dateスコアに限る)、TOEIC Listening & Reading (公開テスト)、IELTS、GTEC (CBTタイプ又は検定版(Advancedタイプ))、TEAP (4技能パターン又はCBT)のいずれか1つを受験することを必要とします。
出願資格	Ⅱ	(1) 外国において学校教育における12年の課程を修了及び令和9年3月31日までに修了見込みの者並びにこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者(ただし、文部科学省告示「外国において学校教育における12年の課程を修了した者に準ずる者を指定する件」の第4号、第5号を除く)。 (2) スイス民法典に基づく財団法人国際バカロレア事務局が授与する「国際バカロレア資格」を有する者 (3) ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められている「アビトゥア資格」を有する者 (4) フランス共和国において、大学入学資格として認められている「バカロレア資格」を有する者 (5) グレート・ブリテン及び北アイルランド連合王国において大学入学資格として認められている「ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格」又は「インターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格」を有する者 (6) 欧州連合構成国において大学入学資格として認められている「欧州バカロレア資格」を有する者
	出願書類(概要)	◇出願要件Ⅱの(1)に該当する者 入学志願票、学校教育における12年の課程の修了証明書又は同修了見込証明書、成績証明書、在留カードの写し又は住民票の写し他 ◇出願要件Ⅱの(1)に該当する者のうち、「これらに準ずる者」に該当する者 ①入学志願票、学校教育における中等教育の課程の修了証明書、成績証明書、在留カードの写し又は住民票の写し他 ②入学志願票、文部科学大臣の指定した教育施設の修了証明書、成績証明書、在留カードの写し又は住民票の写し他 ◇出願要件Ⅱの(2)に該当する者 入学志願票、国際バカロレア資格証書の写し、IB最終試験の成績評価証明書、在留カードの写し又は住民票の写し他 ◇出願要件Ⅱの(3)に該当する者 入学志願票、アビトゥア資格証書の写し、一般的大学入学資格証明書の写し、在留カードの写し又は住民票の写し他 ◇出願要件Ⅱの(4)に該当する者 入学志願票、バカロレア資格証書の写し、バカロレア資格試験成績証明書の写し、在留カードの写し又は住民票の写し他 ◇出願要件Ⅱの(5)に該当する者 入学志願票、成績評価証明書の写し、在留カードの写し又は住民票の写し他 ◇出願要件Ⅱの(6)に該当する者 入学志願票、欧州バカロレア資格証書の写し、欧州バカロレア最終試験成績証明書の写し、在留カードの写し又は住民票の写し他 ◇地域デザイン科学部の各学科、工学部基盤工学科及び農学部のフロンティア食品科学科、生物生産イノベーション科学科、環境システム科学科、エコロジカル社会経済学科へ出願する者 TOEFL iBT公式スコア ◇国際学部国際学科へ出願する者 TOEIC「TOEIC Listening & Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」、TOEFL iBT公式スコア、IELTS「追加成績証明書」、GTEC (CBTタイプ又は検定版(Advancedタイプ))「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」、TEAP 4技能パターン又はCBT「成績表」のいずれか1点。 入試の実施日から、TOEIC Listening & Readingは過去3年以内、TOEFL iBT、IELTS、GTEC (CBTタイプ又は検定版(Advancedタイプ))、TEAP 4技能パターン又はCBTは過去2年以内のスコアを出願書類として有効とします。 TOEFL iBTは、ETSアカウントにてDIコード7976を選択し、本学へのスコアの送付(オンライン)を手配してください。また、IELTS「追加成績証明書」は、試験運営機関(海外で受験した場合、当該地域の事務局)から本学あて直接届くよう、受験者が別途申請してください。 ◎日本語以外の言語で記載されている書類には、訳文の提出を求める場合があります。
選抜方法	入学者の選抜は、出願書類の他、日本留学試験の成績、英語外部試験のスコア(英語を課す学科等のみ)、本学の学力検査等の結果を総合して決定します。	
出願期間	令和9年1月4日(月)～1月6日(水)	
試験日	国際学部	令和9年1月26日(火)
	農学部	令和9年1月26日(火)
合格者発表日	地域デザイン科学部	令和9年2月25日(木)
	工学部	令和9年2月25日(木)
合格者発表日	国際学部	令和9年2月10日(水)
	農学部	令和9年2月10日(水)
合格者発表日	地域デザイン科学部	令和9年3月8日(月)
	工学部	令和9年3月8日(月)

*私費外国人留学生選抜の詳細は、「令和9年度宇都宮大学私費外国人留学生選抜学生募集要項」を参照してください。

(表) 出願要件に TOEFL iBT 等の受験が必要な学部・学科、並びに本学が日本留学試験で指定する試験科目及び実施する学力検査等(教科・科目名の表記については、28ページ参照)

○は指定する試験科目

学部	学 科	TOEFL iBT	TOEIC	IELTS	GTEC	TEAP・ TEAP CBT	日 本 留 学 試 験						本学が実施する 学力検査等			
							日本語	総合 科目	数 学	理 科					出題言語	
										物理	化学	生物				科目選択
地域 デザイン 科学部	コミュニティデザイン学科	○					○	○	自由選択				日本語	小論文	面 接	
	建築都市デザイン学科	○					○		コース2	○		他1科目 自由選択	日本語	面 接		
	社会基盤デザイン学科	○					○		コース2	○		他1科目 自由選択	日本語	数 学 (注1)	面 接	
国際 学部	国 際 学 科			○ (いずれか1点)			○	○	コース1				自由選択	小論文	面 接	
工学部	基 盤 工 学 科	○					○		コース2			2科目 自由選択	日本語	数学 (注1)	理科 (注2)	面接
農学部	フロンティア食品科学科	○					○		自由選択			2科目 自由選択	日本語	面 接		
	生物生産イノベーション科学科	○					○		自由選択			2科目 自由選択	日本語	面 接		
	環境システム科学科	○					○		自由選択			2科目 自由選択	日本語	面 接		
	エコロジカル社会経済学科	○					○	○	自由選択				日本語	小論文	面 接	

(注1) 日本の高等学校の科目「数Ⅰ(データの分析を除く)・数Ⅱ・数Ⅲ・数A(図形の性質、場合の数と確率)・数B(数列)・数C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)」

(注2) 日本の高等学校の科目「物基・物」「化基・化」から1科目選択

VIII 学生募集要項の公表時期と請求方法

学生募集に関する詳細は、必ず、この入学者選抜要項とは別に公表する下記の学生募集要項をご覧ください。

なお、一般選抜、総合型選抜A（一般）・（特別）及び学校推薦型選抜はインターネット出願のため、冊子の配付は行いません。下記公表予定時期に宇都宮大学ホームページ（<https://www.utsunomiya-u.ac.jp/>）で公表します。

募集要項名	公表予定時期	備考
一般選抜学生募集要項	11月上旬	宇都宮大学ホームページよりダウンロード
総合型選抜A（一般）・（特別）学生募集要項	7月上旬	
学校推薦型選抜学生募集要項	9月上旬	
総合型選抜B（帰国生）学生募集要項	10月中旬	「テレメール」で請求 入試課窓口で直接入手
総合型選抜C（社会人）学生募集要項		
総合型選抜D（外国人生徒）学生募集要項		
私費外国人留学生選抜学生募集要項	10月中旬	

「テレメール」で請求する場合

携帯電話・パソコン・スマートフォンから請求できます。（<https://telemail.jp>）
二次元バーコード対応携帯電話であれば右記コードを読み取ってください。

※※送料・手数料が必要です。送料の支払方法は、資料に同封されます。

テレメールで請求する場合の問い合わせ先
テレメールカスタマーセンター 050-8601-0102（9：30～18：00）



「テレメール」
二次元バーコード

IX 疾病・負傷や障がい等による受験上及び修学上の配慮に関する事前相談

疾病・負傷や障がい等のために、受験上及び修学上で配慮を必要とする場合は、出願に際し事前に入試課に申し出てください。なお、詳細は各学生募集要項に記載します。

次のとおり期限を設けますが、できるだけ早い時期に相談を開始してください。

入 試 の 種 類	相 談 の 期 限
学校推薦型選抜	令和8年10月7日(水)まで
総合型選抜A(一般)・(特別)	令和8年8月24日(月)まで
総合型選抜B(帰国生)	令和8年11月18日(水)まで
総合型選抜C(社会人)	令和8年11月18日(水)まで
総合型選抜D(外国人生徒)	令和8年11月18日(水)まで
私費外国人留学生選抜	令和8年11月18日(水)まで
一般選抜	令和9年1月6日(水)まで

X 入試過去問題の使用について


本学の「アドミッション・ポリシー」に基づき、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」への参加大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。(必ず使用するとは限りません。)

- (1) 入試過去問題を使用して出題する場合は、一部を改変することもあります。
- (2) 入試過去問題を使用して出題した場合は、入試終了後、受験者に分かるように本学ホームページ等で公表します。
- (3) 「入試過去問題活用宣言」の詳細及び参加大学の一覧は、次のURLをご覧ください。
<https://www.nyushikakomon.jp/>

XI 宇都宮大学の情報提供

宇都宮大学の最新の情報をお知りになりたい方は、下記の資料等をご覧ください。

なお、大学・学部案内については本学ホームページ「広報刊行物」でもWebパンフレット形式でご覧いただけます。<https://www.utsunomiya-u.ac.jp/outline/kouhou.php>

区 分	資 料 等 名	情 報 の 提供形態	問 い 合 わ せ 先 等
大 学 ・ 学部案内	UTSUNOMIYA UNIVERSITY GUIDE BOOK (大学案内)	配 布 WEB 閲 覧	「テレメール」で請求 二次元バーコードをご確認ください。  入試課窓口で直接入手 問合せ先：028-649-5112 本学ホームページにて検索
	各学部案内 (パンフレット)		
	宇都宮大学 ファクトブック (各種データ) 広報誌 (UUnow)	WEB 閲 覧	本学ホームページにて検索
履修方法	履修案内	閲 覧	入試課窓口で閲覧 問合せ先：028-649-5112
	シラバス	WEB 閲 覧	本学ホームページにて検索
学生生活	学生生活便利帳		
教 員 ・ 研究紹介	研究者総覧	WEB 閲 覧	本学ホームページにて検索

◇本学の情報は、ホームページ [https://www.utsunomiya-u.ac.jp]、入試情報は受験生ポータルサイト [https://admission.utsunomiya-u.ac.jp] からご覧ください。

栃木県の高校生の皆さんへ

入学応援奨学金（予約型奨学金）のご案内

宇都宮大学では平成30年度から、本学への入学を希望しながら経済的理由により進学を断念せざるを得ない栃木県内の高校生に対して、選考の上、入学時に必要となる学資の一部を給付型奨学金として支給する制度を設けています。

◆申請資格（次の全てに該当する方）

1. 令和8年度に栃木県内の高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を修了見込みの者
2. 令和9年4月に本学学部正規課程の1年次に入学する予定の者（外国人留学生を除く。）で、本学に強く入学を志望する者
3. 世帯の年間収入が500万円以下である者
4. 令和9年度の総合型選抜A（一般）・（特別）、学校推薦型選抜又は一般選抜（前期・後期）に出願し、合格した場合には入学することを確約できる者

※注：申請資格の3については令和8年度実績であり、今後変更となる場合があります。

具体の申請資格については、必ず「入学応援奨学金（予約型奨学金）募集要項」でご確認ください。

◆支給額

30万円（一時金）

◆採用予定者数

20人程度

奨学金の要項及び申請用紙は、本学ホームページを参照ください。

<https://www.utsunomiya-u.ac.jp>

宇都宮大学ホームページ トップ→受験生の方→学費免除・奨学金制度

【申請から給付までのスケジュール】

令和8年

9月下旬～10月上旬（予定） 申請受付期間

11月（予定） 内定者決定通知

令和9年

4月 受給者決定、奨学金支給

【奨学金に関する問い合わせ先】

宇都宮大学学務部学生支援課学生支援係

TEL 028-649-5101

※在学する学校を經由して申請してください。入学試験出願書類に同封できません。



宇都宮大学

受験生ポータルサイト

<https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/>
又は右図二次元バーコードからアクセスしてください。



宇都宮大学 学務部入試課
〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350
☎ 028-649-5112

※入学試験に関する問い合わせは、
原則として志願者本人が行ってください。
※受付時間：平日9：00～17：00